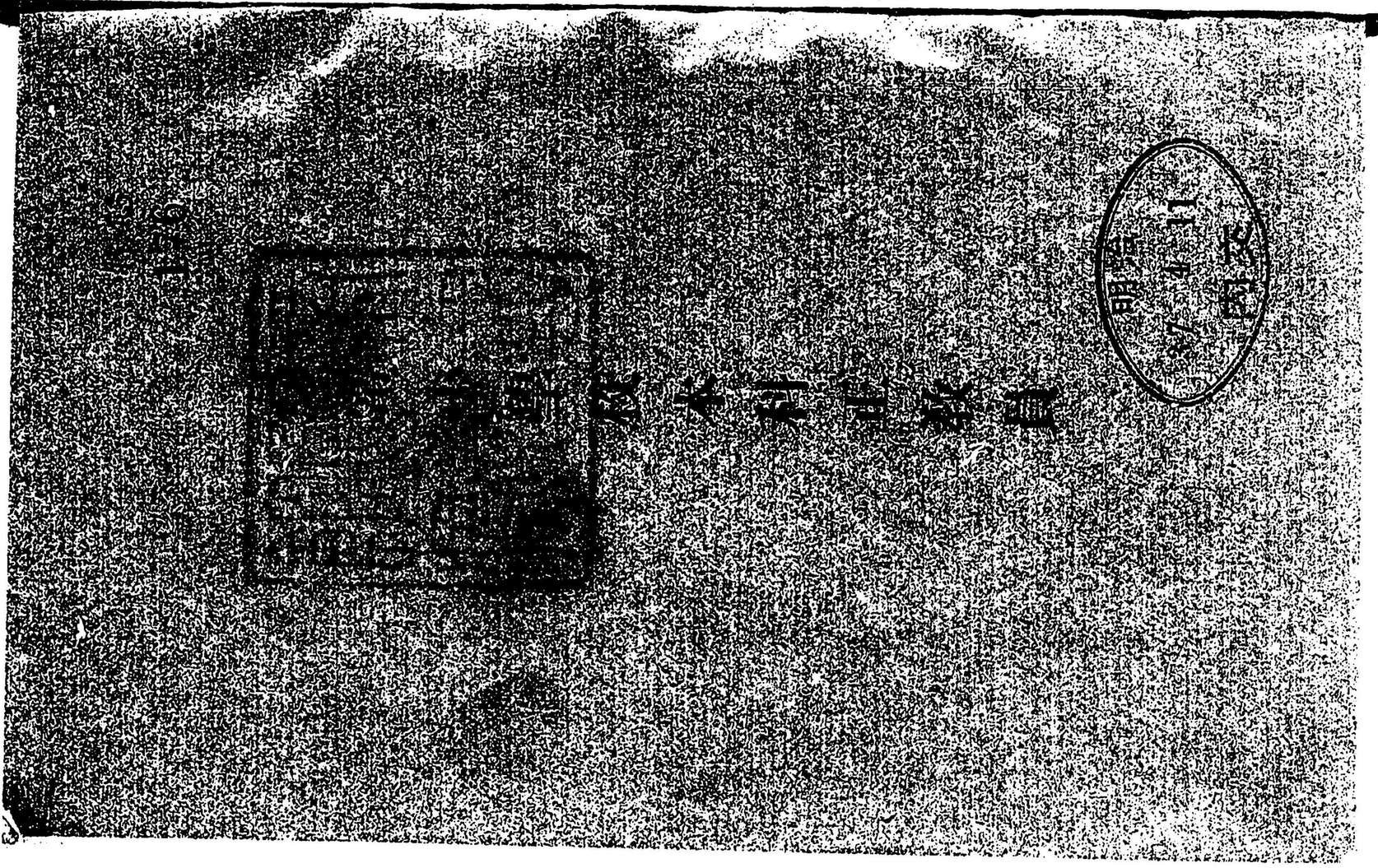
小學校
教員檢定試驗問題集

225
645



小學校教員檢定試驗問題集

尋常科准教員

地理科

一　本邦現今ノ條約國ヲ問フ

二　日本海岸ニ於ケル主要ノ港灣ヲ問フ

三　朝鮮ノ外國貿易場ヲ問フ

四　歐羅巴州ノ比較的ニ開明富彊ノ國多キ理由ヲ問フ

五　本縣ニ於ケル物産十種ヲ擧ゲヨ

一　本縣ニ於ケル三大川ニ沿ヘル郡名ヲ擧ゲヨ

二　平原ト人文發達トノ關係ヲ例ヲ引キテ証明セヨ

三　東京ヨリ神戸ニ至ル鐵道線路沿ニヘル重ナル都會十以上ノ名ヲ擧ゲ且其鐵道ノ名ヲ問フ

四　九州ノ輪廓圖ヲ畫キテ圖中縣廳所在地ヲ示セ

五、左ノ都邑ニ村著シキ點ヲ記セ
1、濱田　2、福井　3、小樽　4、米澤
5、琴平

一、本邦海軍鎮守府ノ所在地及其位置ヲ問フ
二、北海道ノ著名ナル港及其國名ヲ問フ
三、九州ヨリ出ル海産物及鑛物ノ著名ナルモノヲ擧ゲヨ
四、奈良ニ就テ知レル所ヲ記セ
五、左ノ所在地ヲ問フ
　　直江津　男體山　豐橋

一、各自在住國ノ輪廓圖ヲ描キ殊ニ各郡役所々在地ヲ印セ
二、我國海岸屈曲ノ狀況ヲ略記シ且ツ著名ナル海灣五个ヲ記スヘシ
三、南海道及東海道ニ於ケル著名ノ物産三ツヽヲ擧ケヨ
四、山陰山陽ノ地勢幷地味ヲ比較スヘシ
五、サイベイヤノ地勢ヲ略記スヘシ
六、歐洲ニ於ケル獨立國ヲ列擧セヨ

一、本邦ニ於ケル大口十萬以上ノ都府ヲ擧ケヨ
二、東京ヨリ瀨戸內海ヲ經テ長崎ニ至ルまで經過すへき著名の海を擧けよ
三、本縣に於て物産の重なるもの五六を擧けよ
四、小笠原島につき知る所を記せ
五、朝鮮の外國貿易場を問ふ
六、臺灣につき知る所を記せ
七、支那の政體を略記せよ
八、左の地名は何れの國にありて且つ如何なる製造業に著名なりや
（イ）マンチエスター、シエフイルド　ボルドウ　リヨン　マニラ

一、本縣ニ於ケル最高ノ山二ケヲ擧ゲ其所在地ヲ示セ
二、敦賀青森間ニ在ル著名ノ港ヲ列記セヨ
三、師團司令部ノ所在地ヲ問フ
四、本邦ニ於テ養蠶業ノ盛ナル地及茶ノ產額多キ地ヲ記セ
五、支那帝國ニ於ケル主要ナル外國貿易場ヲ問フ
六、左ノ各地ニ就キテ知ル所ヲ記セ

[illegible]ンゴツグ　カルカツタ　メルボルン　ボストン　アムステルダム

第七

一、本縣ニ於ケル郡役所ノ所在地ヲ擧ゲヨ

二、本邦ニ於ケル火山脈ノ重ナル者ヲ擧ゲヨ

三、本邦ニ於ケル牛馬ノ重ナル產地ヲ擧ゲヨ

四、四國ノ輪廓圖ヲ畫キテ圖中ニ縣廳所在地ヲ示セ

五、左ノ都邑ニ付著シキ點ヲ擧ゲヨ

1、小倉　2、明石　3、堺　4、甲府

5、富山

教育科

原理

一、知力作用發達ノ順序ヲ詳記セヨ

二、[illegible]習慣ヲ與フル方法如何

[illegible]方法ヲ問フ

[illegible]法上ノ關係ヲ問フ

五、生徒ノ作文ヲ黑板上ニテ訂正スル方法如何

六、小學校ニ於テ遊步場ノ必要ヲ述フベシ

(一)小學校第一條ニ「兒童身体ノ發達ニ留意シテ道德教育國民教員ノ基礎竝日常生活ニ必須ナル智識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス」トアリ其大意ヲ解說セヨ

(二)八ナル數ヲ教授スル順序方法ヲ記セ

(三)習字ノ教授時間中生徒倦怠セシトキハ如何ニスベキカ

(四)体罰ヲ禁スル所以ハ如何

(一)智識ハ道德ニ如何ナル關係ヲ有スルカ

(二)教師ハ誠實、親愛、公平、忍耐、決斷、等ノ諸德ヲ備ヘザルベカラザルコトヲ詳說セヨ

(三)概念ヲ詳說セヨ

(四)習字教授ノ際注意スベキ諸件ヲ列擧セヨ

(五)始メテ假名ヲ教授スル方法ヲ記セヨ

(六)教室內ハ如何ニ整理スベキカ

一　觀念ノ連合律ヲ記セ
二　教師ガ生徒ニ對スル發問ノ仕方ヲ問フ
三　德育ト健康トノ關係ヲ記セヨ
四　學校ニ於ケル試業(試驗)ノ目的如何
五　遊歩場ハ何ノ爲メニ設ケシヤ又其遊歩ニ於テ教師ノ心得ベキ事柄ヲ擧ゲヨ
六　「教授ハ觀念ヲ先ニシテ表出ヲ後ニスベシ」トノ意義ヲ說明セヨ
七　讀書教授ニ於テ書取ヲ課スル趣旨及其方法如何
八　尋常小學第一學年生ニ對シ六ナル數ニツキテ教フベキ事柄ハ何々カ
一　尋常小學校ノ正教科目幷ニ加除シ得ベキ教科目如何
二　歸納的教授法トハ如何又此法ハ主トシテ如何ナル學科ニ適用スベキカ
三　定義トハ如何之ヲ詳記セヨ
四　讀書科ニ於テ教授スベキ事項ヲ問フ
五　算術科ニ於ケル問題ノ撰擇法及提出法如何
六　學校衛生ハ主トシテ如何ナル點ニ注意スベキカ
七　訓練ト學校規則トノ關係如何
(一)　想像作用ヲ說明セヨ
(二)　生徒ヲシテ課業ニ注意セシメンニハ如何ニスベキカ
(三)　尋常小學第一學年生ニ習字ヲ教授スル方法ヲ問フ
(四)　歷史ヲ教授スルハ何ノタメカ
(五)　修身上ノ格言ハ如何ナルモノヲヨシトスルカ
(六)　特ニ教師ノ修ムベキ諸德ヲ擧ゲテ說明セヨ
(七)　尋常小學校ニ於テ左ノ如キ教員生徒アル時如何ニ學級ヲ編成スベキカ

正教員　二　人　　準教員　一　人
第一學年生　四十人　　第二學年生　四十人
第三學年生　三十人　　第四學年生　三十人

(八)　尋常小學第三學年以上ニ暗算ヲ課スルハ何ノタメカ
(九)　生徒下校ノ際如何ナル事ニ注意スベキカ
(十)　教室内教師ハ如何ナル位置ニアルベキカ

以　上

修身科

(一) 父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ

(二) 伊川先生、甚愛ニ表記君子莊敬日彊、安肆日偷之語一、蓋常人之情、纔放肆則日就ニ[illegible]一、自撿束則日就ニ規矩一、

(三) 素驕奢者、欲レ其觀下古人之恭儉節用、卑以自收、禮爲ニ德本一、敬者身基上、瞿然自失、斂容抑レ志也

(四) 夫指引者師之功也、行有レ不レ至、從容規戒者、朋友之任也、決レ意而往則須ニ己力一、難仰ニ他人一矣

右平易ニ布衍解釋スヘシ

一 一旦緩急アラバ義勇公ニ奉ス

二 敬勝レ怠者吉怠勝レ敬者滅義勝レ欲者從欲勝レ義者凶

三 謹レ身節レ用以養ニ父母一

四 待ニ垂於先生一先生問焉終則對請レ業則起請レ益則起

(一) [illegible]

(二) 戒爾勿ニ多言一多言衆所レ忌苟不レ愼ニ樞機一災厄從レ此始是非毀譽間適足レ爲ニ身累一

(三) 吉人爲善惟日不レ足

(四) 勿下以ニ惡小一而爲上之勿下以ニ善小一而不上爲

右解釋ヲ求ム

(一) 天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ

(二) 詩曰天生ニ烝民一有レ物有レ則民之秉彝好ニ是懿德一

(三) 勿ニ放曠一放曠非ニ端士一

(四) 君子莊敬日彊安肆日偷

右求解釋

一 常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレバ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ

二 曲禮曰坐如レ尸立如齊

三 曾子曰君子以レ文會レ友以レ友輔レ仁

右求解釋

（一）天壌無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ
（二）安詳恭敬
（三）立ル心以ニ忠信不レ欺為ニ主本一
（四）擧レ世重ニ交遊一擬レ結ニ金蘭契一恐怨容易生、風波當レ時起、所以君子心汪々淡如レ水

一、伊川先生曰、居是邦、不非其大夫、此理最好
二、待於君子不願望而對、非禮也、
右送假字反リ点　講義ヲ要ス
三、智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ
右詳解セヨ
五、教育ノ淵源ハ何レニ存スルカ聖勅ノ主旨ヲ敷演シテ詳ニ説明スヘシ

歴史科

一　諸代大名及外様大名トハ何ソヤ及其ノ重ナルモノ各二三ヲ擧ケヨ
二　應仁ノ亂源ヲ記セ
三　政所侍所及問註所ハ如何ナル事務ヲ取扱フ官廳ナリヤ
四　班田法及租調トハ何ソヤ
五　左ノ人々ノ重ナル事蹟ヲ問フ
（イ）　松平定信
（ロ）　僧空海
（ハ）　平賀源内
（ニ）　北條時宗

一、奈良、藤原時代ニ於ケル有名ノ人物各五人ヲ擧ゲヨ
二、鎌倉時代ニ起リシ宗教ヲ列擧セヨ
三、南北朝ノ分立セシ源因ヲ問フ
四、左ノ事柄ヲ簡單ニ解セヨ
1、弓弦調、手末調
2、檢非違使
3、守護、地頭

1、天智帝ヲ中興ノ祖ト尊稱スル所以如何

2、南北朝分立ノ際ニ宮方トナリテ勤王セシ名族五六ヲ擧ゲヨ

3、戰國群雄中民政ノ著シキ者ヲ擧ゲヨ

4、左ノ事項ヲ簡明ニ解セヨ

1、殉死ノ禁

2、切支丹宗門

5、左ノ人々ノ時代ヲ問フ

1、行基

2、畠山重忠

3、伊藤仁齋

一、三種ノ神器及ビ伊勢神宮ノ由來ヲ問フ

二、永代ノ皇居ハ何レノ御時ヨリ初マリシヤ且其理由ヲ問フ

三、鎌倉幕府ノ組織ヲ問フ

四、德川初代ニ於ケル有名ノ人物五人以上ヲ擧ゲヨ

五、三家及ビ三卿ノ名ヲ擧ゲヨ

一、孝德帝ノ朝國造縣主等ノ世襲地方官ヲ止メ任限アル國司ニ替ヘラレタルハ何故ナリヤ

一二

一、平治ノ亂ノ源因ヲ問フ

二、後奈良帝ノ朝(享祿天文年間)ニ起リタル群雄ヲ各地方ニ分チテ之ヲ列記セヨ

三、德川幕府ノ重要ナル官職ヲ擧ゲ其職掌ヲ記述セヨ

四、左ノ人々ノ事蹟ヲ問フ

阿倍比羅夫　藤原公任　加藤景正　上杉治憲　後藤象次郎

五、神功皇后ノ御征韓ノ結果ヲ問フ

二、應仁ノ亂源ヲ簡明ニ記セ

三、左ノ人々ノ顯著ナル事蹟ヲ記セ

1、吉備眞備　2、最澄　3、源親房　4、松平定信

四、左ノ事柄ヲ簡單ニ記明セヨ

1、殉死ノ禁　2、撿非違使　3、鐵砲舶來ノ始　4、尊王攘夷

一　班田收授の法とは何ぞや

二　大宰府及鎭守府は何れの地方に置かれ且つ如何なる事柄を取扱ひし官廳なりや

三　天平時代及東山時代とは如何

四　臺灣事件(明治七年ニ起リシ)の顚末を記せ

五　左の事件の起りし年代を記せ
(イ)廢藩置縣
(ロ)千島とからふと島との交換
(ハ)憲法發布
(ニ)徴兵令發布

六　左の人々の重なる事蹟を略記せよ
(イ)　近松門左衛門
(ロ)　本居　宣長
(ハ)　菊池　武光
(ニ)　藤原　定家
(ホ)　舍人　親王

圖畫科

自在畫
(一)臨畫　折枝之梅
(二)寫生　土偶

用器畫
(一)等邊三角ヲ畫ク法
(二)一箇ノ不正四角ヲ畫ケ更ニ同形同積ナル他ノ四角ヲ畫ケ

筆答
(一)寫生スル時ノ用意ヲ記セ
(二)工夫畫ノ効用ヲ略記セヨ

自在畫
臨畫題　曲玉　管玉

算術科

筆算
(一)　35423×5209－246088＋1429
(二)　両分數アリ其和ハ1/2其差ハ1/18ナリ由テ其大ナル分數ノ八分ノ一ヲ小數六位マ

テ計算スヘシ

(三) 人夫十二人ニテ十八日ニ百八十五坪ノ草ヲ刈レリ今之ヲ刈ルニ人夫五人ヲ減セハ日数ハ如何ニ変化スルカ

(四) 人アリ金七百五拾圓ヲ年七分ニテ一年一期ノ定期預トシテ銀行ニ預ケ入レ三年ヲ経テ引出スキハ惣額幾何ヲ受取ルヘキヤ

(一) 6584及111111ノ素乗子ヲ求ヨ

(二) 成ヘク簡便ノ方法ヲ以テ次ノ式ノ價ヲ求メヨ

$$3204 \times 2 \times 783 \times 998$$

(三) 次キノ式ヲ計算セヨ

$$\left(3\frac{2}{3} \times 3\frac{1}{4}\right) + \left(1\frac{4}{9} - \frac{1}{12}\right)$$

(四) 甲乙二種ノ生糸ノ代價合テ金千百五十二圓ニシテ乙ノ代價ハ甲ノ代價ノ五分ノ四ニ等シトイフ甲乙ノ代價何程

(五) 米若干俵アリ之ヲ運搬スルニ馬四十五頭ヲ用フレバ八日ニシテ爲ルヘシ之ヨリ一日早ク運搬シ了ラントセハ牛幾頭ヲ用フヘキカ但牛馬ノ力ノ比ハ5ト3トノ如ク速サノ比ハ6ト7トノ如シ

(一) (78633.81−0.4.7.6.6.9)×47.05の5003ノ結果ヲ求ム

(二) 明治廿八年ノ調査ニ據ルニ本邦水田段別ハ二百七十四万八千百四十三町歩此地價十一億三百九十四万七千七十二圓ナリ平均一町歩ノ地價幾何但シ圓位マテ算出シ以下四捨五入セヨ

(三) 貳拾圓金貨若干ト三倍ノ拾圓金貨ト五倍ノ五圓金貨トヲ以テ金參千圓ノ仕拂ヲナセリトイフ貳拾圓金貨ノ個數幾何

(四) $\left(5\frac{1}{8} + 3\frac{3}{7}\right) \div \left(9\frac{5}{7} - 5\frac{1}{3}\right)$ ノ結果ヲ求ム

(五) 夜ノ長サ拾時五拾分三十秒ナル時晝ノ長サハ幾何ナルカ又問フ此日出及ヒ日沒ハ何時ナリヤ

(六) 男五人或ハ女九人ニテ十六日ニ食スヘキ米糧ヲ男十人女六人ニテ食セハ幾日分ノ糧ニ當ルカ

右ノ中應用問題ニ於テハ解說、算式及ヒ答ヲ要シ式題ニ於テハ運算及ヒ答ヲ要ス

(一) 算用數字ヲ如何ニ記シ且是等ノ數字ヲ以テ如何ナル數ヲモ記シ得ル所以ヲ說明セヨ

(二) 一地面アリ間口ハ二十三間ニシテ奥行ハ八間長シ然ラハ其面積何程（式、說明、答

（三）厚五分ノ板ニテ造レル水溜メアリ其高二尺五寸縦三尺横一尺八寸ナリト（蓋ノ寸法ハ此外ナリ）此桶ニ充ス水量ハ幾立方寸アルカ（式、運算、答）

（四）明治三十三年ハ潤年ナルヤ將タ平年ナリヤニツキテ數學上ノ説明ヲ求ム

（五）戸數二百十六戸ノ一村アリ其全村民有ノ田地合計三百九十七町八畝ト云フ各戸平均何程ノ田地ヲ所有スル割合ナルカ（式、運算、答）

（六）甲ハ五日乙ハ六日丙ハ七日ニシテ各同一ノ事業ヲ成就ストイフ今此三人共力スレハ何日ニシテ此事業ヲ了ルヤキカ（式、説明、答）

（七）山陽鐵道株券三十枚ヲ一株五拾八圓三十錢ニテ買ヒ手數料「$\frac{1}{8}$%」拂ヒタル總金何程（式、説明、答）

珠算

口唱（一）金二十五圓八十二錢　五圓四十二錢　二百七十三圓二十五錢　百二十圓八十七錢　二百五十二圓七錢

右ノ和

口唱（二）三十二奇零五分四厘ニ二厘五毛ヲ乘セヨ

（三）二百六十五日間ニ木綿二万八千四百七十尺ヲ織出ス機械アリ二十日間ニ織リ出ス木綿幾尺ナルカ

（五）三貫三百十六匁　二貫六匁
七貫八百四十匁　六百五十匁
十五貫六百匁　九貫六百五十匁
二百七十八匁　一貫八百十三匁
計

（六）$3.14159 \times 469 + 67$

一　數ヲ加フルノ方法ハ幾種ニ分區サル、ヤ例ニ付テ説明セヨ

二　除算定位ノ方法ヲ二樣ニ述ヘヨ
甲　算盤ニヨリ商ノ一位ノ桁ノ定メ方
乙　算盤ニヨラスシテ商ノ首位ノ名稱ノ定メ方

三　米百四十四石ヲ三百二十俵ニ包ミ之ヲ運送スル際三石五斗ヲ遺失セリ依テ再ヒ之ヲ他ノ俵ニ包ミ換ユルニ前ヨリ一俵ニ付キ五升ヲ増セリ問フ其俵數幾何ナリヤ
但シ其算法ヲ附セ

口唱　一、金貳拾五圓八拾二錢　五圓四拾二錢
貳百七拾三圓貳拾五錢　百貳拾圓八拾七錢
二百五拾貳圓七錢
右ノ和

二、三十二奇零五分四厘ニ二厘五毛ヲ乘セヨ

（一）累加算
貳圓八拾一錢　四圓十七錢　五圓二十四錢　七圓三錢　八圓九十三錢

（二）三万八千七百貳拾三石ヨリ左ノ量ヲ引ケ
貳千八百七十二石　五千七百四十八石　八千九百七十二石

（三）乘法
實　四百八十七　法　五十三

（四）乘法
實　二百四十　法　二分四厘

（五）除法
實　三十九万百五十九　法　五百六十三

（六）除法
實　五十四個九分九厘　法　二百三十五
以上

体操科

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一第二演習

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一演習
右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一演習
右實地

國語科

一 文法

い 居名詞の種類例を擧けて示せ

ろ 鳴くと云ふ動詞に付自他の言を擧けよ

は 助動詞の品種を擧けよ

二 講讀

左の文に假名を付し其意味を解せ

山有木工則度之賓有禮主則擇程子也是を論して所遇之時然爾各額をつきて謝し侍りぬ

三 作文

水

普通文體

一 文法

(い) 居名詞を造るには如何にすべきか例を擧て示せ

(ろ) 崇敬動詞の各種につき例を擧て說明せよ

二 講讀

左の文中漢字の傍に讀假名を附し且全文の意味を解け

(は) 左ノ訳述ニ文章に付誤あらば之を訂せ

九十の春光はいとなかけれど何くれとなきさらはしく風雨も又しげくれは爲す事もなくはかなくすぎてとゝぬ此ほどきし人のけふはやくいにぬるは又何の故あるやりぬ落花寂々たる黄昏の時は春の名殘いとをしむべし蘇子膽が青雲還一夢ときのふこそ年はくれしを春霞かすかの山に早たちにけりいへるうべなるかな

三 作文

書籍

但普通文体二百字以内を限る

一 文法

い 忍といふ動詞は何段の作なりや

ろ 形狀動詞をいち〳〵形容詞又動詞となすの別を問ふ

は 靜助辭の種類を問ふ

に　動助辭の種類を問ふ

二　講讀

左の文を解せ

今年もはや半過ぎぬればいつしか秋のけしきたちて荻吹く風も身にしみ頃なり久しく絶が行かねばこのはぞの老のねさめも覺束なしいざたつね問はんとてわる夕ぐれに例の人々打ちつれて來しか云々

三　作文

鏡の說

但普通文二百字以內を限る

一　文法

い　左の詞に付きて雅語の品類を記せ

筑紫の海に出るしらぬひ見るは肥前の字土八代の浦々よし殊によく見ゆるは天草なりと云ふ

ろ　名詞の格を記せ

は　動詞變化の數任を記せ

に　助動詞の變化種類を記せ

二　讀　方

い　左の文を解せ

其の智には及ふべく其の愚には及ふ可からす○五月六月の照りはたゝさ箱月し

はすのふりこほる頃

る　左の詞を訓め

巧詐不如拙誠○所遇之時然爾○落花遊絲白月靜

三　作文

体育の必要

但し普通文

一　文法

い　八品詞の例を擧けて記せ

ろ　居名詞を造る方法を記せ

は　作用動詞形狀動詞の別を「花」に付きて示せ

に　變格良行終止段の助辭は何々なりや

二　講讀

い　左の文を解け

堀川相國は美男のたのしき人にてその事となく過差を好み給ひけり御子基俊卿を大理となして廳務行はれけるに云云

ろ　左の詞を訓め

春入燒痕青　野火燒不盡春風吹後生

三　作文

旅行の樂

但普通文

（一）名詞の復數のあらはし方を問ふ

（二）命令の意をあらはすには如何すべきか

（三）左のことばとともに其の讀方の假名を附せよ

（い）家　（ろ）礎　（は）腹　（に）机　（ほ）屏風

（四）左の文章ともにつき其の誤れる語點を訂正せよ

（い）彼は既に尋常小學の科程を卒へり

（ろ）窓が開けて月を見る

（は）うべ此の月を小春とぞいへり

（五）左の文章とを解釋せよ

（六）作文

吾が住む里

普通文體百二字以內

習字科

潔己是心家

右三体

敬方足以正衆邪

右楷行草三躰

青靈花盡緣來稀

右楷行草三躰

解簿有聲驚倦枕

右楷行草三体

嚴冬凄切寒氣凜

楷行草三躰

德不孤必有隣

積雪樓臺增壯觀

右楷行草三躰

尋常科正教員

算術科

筆算

一　量ト數トノ區別ヲ詳ニスベシ

二　順序同シカラサルモ同シ數字ヨリ成ル二數ノ差ハ恒ニ九ヲ以テ整除シ得ベシ其証如何

三　或人書記ヲ傭フルニ當リ一ケ年ノ給料トシテ金參拾九圓拾錢ト衣服ヲ給スルヲ約セリ然ルニ五ケ月ノ後ニ暇ヲ乞ヒケレハ衣服ト金拾四圓六拾錢ヲ附與セリ依テ衣服ノ代價ヲ問フ

四　二市アリ甲市ハ西經六度四十九分四十二秒ニアリテ乙市ハ東經五度二十四分五十四秒ニアリ本初子午線ニ於テ正午ナルトキハ各市ニ於ケル時刻幾何ナルカ

五　二數ノ和ハ百六十八ニシテ其最大公約數ハ二十四ナリト云フ此二數ヲ問フ

六　甲乙ノ脚夫アリ甲ハ毎時一里二分ノ一ヲ行キ乙ハ毎時二里四分ノ一ヲ行ク今甲ハ乙ヨリ四時間早ク發足セリ然ルトキハ乙ノ甲ニ追ヒ付クハ幾何時間ノ後ニアルカ

七　或人金若干圓ヲ若干ノ利率ニテ貸附セシニ九ケ月ノ後ニ元利合計金八千三百圓トナリ三ケ年ノ後ニハ金九千二百圓トナリタリ由テ元金及ヒ利率ヲ問フ

（一）相距ルコト三百三十六里ナル両地ヨリ相向テ同時ニ脚夫ヲ出セシニ東夫ハ日ニ十六里ヲ行西夫ハ日ニ十二里ヲ行クト云フ歸途相會スルマテニハ幾日ヲ要スルカ

（二）時計アリ其長六寸ノ長針ノ端ガ十八分時ニ幾何ノ長サヲ動クカ但圓周率ハ三、一四一六トス

（三）園中ノ樹數ヲ算スルニ草木ノ外松ト杉トヲ合セテ九百株アリ但此中七百五十株ハ杉ニシテ又松ノ二倍ト草木ノ數トハ杉ト松杉ノ和トノ比ニ同シ由テ草木ノ數ヲ求ム

（四）一束ニ付六十三貫目ノ貨物ヲ二十九束買入レシニ風袋ハ粗重ノ十五分ノ一ニシテ精重一貫目ノ價ハ金八圓ナリト云フ今二分五厘ノ割引ヲ爲ストスレバ支拂フヘキ金高幾何

（五）二數ノ積五百廿五箇ニシテ其最小公倍數ハ百五箇ナルコトヲ知リテ此二數ノ最大公約數ヲ求ム

珠　算

（六）二段三畝五歩　三町貳畝拾三歩　十二町貳反三歩
八町七畝拾五歩　五畝拾八歩　三反七畝廿七歩
十九町八反六畝一歩　四町八畝拾六歩

（七）$0.7854 \times 1635 = 545$

筆算ヲ課スル前ニ左ノ諸問題ヲ口唱シテ與ヘ算答ヲ答按紙ニ記サシム

（一）次ノ量ノ和ヲ求ム
貳圓參拾貳錢　參圓七拾參錢
八拾七錢八厘　九圓貳錢五厘
三圓七拾六錢　七拾錢四厘
五圓九拾八錢

（二）百八拾七石六斗ヨリ次諸量ヲ減セヨ
參拾九石七斗　四拾八石七斗
五拾參石貳斗　六拾七石四斗

（三）六百五十一ニ七百四十九ヲ掛ケタル積ヲ求ム

（四）三十九万百五十九ヲ五百六十三ニテ割リタル商ヲ求ム

（五）五千四百八十二個壹分五厘ヲ四毛ニテノ除商幾何

（一）三錢及拾錢ノ郵便切手合セテ三拾五枚ヲ買ヒ壹圓七拾五錢ヲ拂ヘリ各何枚ツヽヲ買ヒシカ（式、説明、答ヲ求）

（二）$\frac{3}{4} \times \frac{5}{9}$ ヲ例トシテ分數ニ分數ヲ乘スル算法ノ理由ヲ説明セヨ

(三) 二ノ時計アリ甲ハ午前八時十五分ヲ示シ乙ハ仝八時四十一分ヲ示ス然ルニ甲ハ九時間毎ニ三分ツヽ進ミ乙ハ七時間毎ニ二分ツヽ遅ル、トニフ二ツノ時計ノ同時刻ヲ示スハ幾時後ナルカ又何時ナルカ(式、説明、答)

(四) 直角形ノ畑地ノ面積ハ一万九千三百六十七坪三分二厘ニシテ奥行ハ間口ノ七倍ニ等シトイフ間口及奥行各何程(式、説明、運算、答)

(五) 甲乙二市ノ經度ノ差ハ二度二十九分ナリ甲市ノ正午ハ乙市ノ幾時ナルカ(式、説明、運算、答)

(六) 或人保險金百圓ニ對シ毎年三圓七十五錢ノ割合ニテ千五百圓ノ生命保險ヲ契約セリ年々ノ保險料ハ何程ナルカ又若シ此保險料ヲ毎月拂ヒ込ムトスレバ其一割ヲ增スヘキ筈ナリ然ラハ毎月拂込ノ保險料ハ何程ナルカ(式、説明、答)

(七) 九月二十六日振出十二月十五日滿期ノ二百四十圓ノ手形ヲ或銀行ニテ割引日歩壹錢六厘ニテ十一月十八日ニ買ヒ取リタリ其銀行ノ買取價幾何(式、説明、答)

連除法ニヨリテ二數ノ最大公約數ヲ求ムル算法上必要ナル數理ヲ解明セヨ

(一) 甲乙二人共ニ働テ前半月間ニハ金拾壹圓五拾五錢ヲ得タルモ乙ノ就業日數ハ十二日ナリ後半月間ニハ金拾圓三拾五錢ヲ得タルモ乙ノ就業日數ハ九日ナリ各一日ノ賃銀ヲ問フ

(二) (33.75+5.92+14.4×6)+(4.727—(2.295—3.19×5)ノ結果ヲ求ム

(三) $3\frac{1}{8}+2\frac{8}{11}+0.57+2.341$ ノ結果ヲ分數ニテ表示セヨ

(四) 四千「メイートル」ト一里トノ差ヲ算出セヨ

(五) 但其差ヲ「メイートル」制及町間尺制ノ二樣ニ表示スベシ

次ノ比例問題ヲ解ケヨ

(六) 職工十二人ヲシテ二十九日間ニ彈藥七百發ヲ製セシメントスルニ十一日後ニ至リ僅ニ二百二十發ヲ製セシノミ由テ日限內ニ全ク製シ終ランコトヲ欲セバ更ニ幾人ノ職工ヲ增傭スベキカ

(七) 或人現ニ金貳千七百圓ノ貨物ヲ八ケ月後ニ支拂ベキ約束ニテ買入レシガ都合アリテ金千五百圓ヲ十ケ月ニ支拂フコトニセリ由テ殘金ハ今ヨリ幾月後ニ支拂フベキカヲ問フ

右諸題中應用問題ニ於テハ解說算式及ヒ答ヲ要シ式題ニ於テハ運算及ヒ答ヲ要ス

(一) 除法ニヨラズシテ或數ノ9ノ倍數ナリヤ否ヤヲ驗スル方法及理由如何

(二) 次ノ式ヲ計算セヨ

$(625+2.3+16-609)\times 4.09$

(三) 次ノ式ヲ計算セヨ

$$\frac{(2+\frac{4}{7})\times 3-\frac{4}{9}}{7+\frac{11}{12}}\div\left(\frac{23}{11}+\frac{13}{33}\right)$$

(四) 絹二百八十反ヲ金千八百五拾六圓ニ賣リタリ然レ𪜈尚貳百貳拾參圓ダケ高價ニ賣タラン𪜈ハ元價ノ九分ノ二ニ當ル利益ヲ得タルナルヘシ一反ノ元價何程ナルヤ

(五) 或牧場ニ於テ馬ト羊トヲ飼養スルニ五馬ト八十四羊トハ其費相等シ而シテ馬十一頭ト羊百三拾貳頭トヲ一週間飼養セハ其費用金拾五圓八拾四錢ナリ由テ馬三十頭ト羊百九十六頭トヲ一年飼養セハ其費用何程ナリヤ

(六) 廣サ一町歩ニ等シキ正方形ノ地面ノ一邊ノ長サヲ尺マデ算出セヨ

口唱 (一) 米 八石三斗貳升五合 九石九斗七升貳合
貳拾六石七斗四升七合 七拾八石〇五升
貳百八拾石四斗二升七合
右之和

(二) 金三千七百八圓ヲ一年間貸シテ利金貳百六拾六圓九拾七錢六厘ヲ得タリ年利率ヲ問

体操科

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一演習第二演習ノ内
右實地

一兵式体操　体操教範第一部第一章
一普通体操　徒手体操第二演習
右實地

仝准教員

一兵式体操　体操教範第一部第一章
一普通体操　徒手体操第一演習
右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一第二演習
以上

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一演習
右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一演習第二演習
右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章
普通体操　徒手体操第一演習第二演習

兵式体操　体操教範第一部第一章

普通体操　徒手体操第二演習
右實地

歴史科

一　徳川幕府ノ三奉行トハ何ソヤ及其職掌ヲ問フ
二　徳川氏初世ニ於ケル外國貿易ノ狀況ヲ記スヘシ
三　五罪及八虐トハ何ソヤ
四　雄略天皇ノ御事跡ヲ記セ
五　左ノ人々ノ重ナル事跡ヲ示スヘシ
（イ）御諸別王
（ロ）紫式部
（ハ）太田持資
（ニ）近藤重蔵

一　伴造及品部とは何ぞや
二　八宗の名稱を問ふ

三　六波羅探題の職掌を問ふ

四　院政とは何ぞや

五　天草亂の顚末を記せ

六　左の人々の重なる事跡を略記せよ

（イ）百濟河成

（ロ）紀貫之

（ハ）僧親鸞

（ニ）明珍信家

七　左の事項を解釋せよ

（イ）五　罪

（ロ）四道の學

（ハ）四ッ物成

（ニ）屯　倉

一、大化改新ノ重ナル事項ヲ列擧セヨ

二、遣唐留學生中ノ有名ノ人物五人以上ヲ擧ゲヨ

三、王朝ノ政治組織ト鎌倉幕府ノ政治組織トヲ簡單ニ比較評論セヨ

四、德川幕府ノ初ニ於ケル武家諸法度ト朝廷諸法度ノ重ナル事項ヲ擧ゲヨ

五、左ノ事柄ヲ簡明ニ解セヨ

1、埴　輪

2、文錄ノ檢地

一、佛敎ノ我邦ニ及ボセル利害ヲ列擧セヨ

二、源賴朝ノ基業ト關東武士トノ關係ヲ陳ベヨ

三、左ノ人々ノ顯著ナル事蹟ヲ記セ

1、道臣命　2、藤原不比等

3、榮　西　4、蒲生秀實

四、左ノ事柄ヲ簡單ニ說明セヨ

1、租、庸、調　2、攝政關白

3、本地垂跡　4、朱印船

1、本邦水利ノ行キ屆キタル遠因ハ如何

2、源平二氏ノ戰ニ就キ簡單ニ評セヨ

3、德川氏ノ諸侯ニ對スル政略ヲ述ベヨ

4、左ノ事項ヲ解セヨ
莊　園
白　拍　子

5、左ノ人々ノ顯著ナル事蹟ヲ記セヨ
大伴家持　大鹽平八郎

一、天慶ノ亂ト藤原氏ノ處權トハ如何ナル關係アリヤ且其亂ノ地方ニ及ボシ、影響如何
二、鎌倉幕府ノ中央及地方ニ於ケル政治組織ヲ問フ
三、德川氏初世ノ外交政略ヲ問フ
四、左ノ事項ヲ簡單ニ解セヨ
1、御子代ノ民
2、律令格式
3、攝家清華

教育科

一　道德的品性トハ何ソヤ之ヲ陶冶スル順序方法如何

二　體育ヲ完遂スルニツキ學校ニ於テ直接ニ關係スヘキ事項ヲ擧ケテ之ヲ說明セヨ
三　知覺力ヲ修練スル方法ヲ問フ
四　敎授ノ成功ヲ期スルニハ如何ナル點ニ注意スヘキカ
五　書取ノ必要及ヒ其方法ヲ問フ
六　學校ト家庭トノ連絡ヲ謀ル方法如何

(一)　敎育者ハ敎育學ヲ修メザルヘカラサル理由如何
(二)　道德上ノ情操ヲ修練スル方法ヲ問フ
(三)　思考作用ノ階級ヲ說明セヨ
(四)　體育ニ關スル事項中直接ニ學校ニ於テ採ルヘキ事業ヲ問フ
(五)　作文科ニ於テ文題ヲ撰擇スル方法如何
(六)　體操科ノ敎授上ノ注意スヘキ條項ヲ列記セヨ
(七)　尋常小學校第一學年ノ兒童ヨリ成ル學級ヲ容ルヘキ敎室ノ設備ヲ記セ

(一)　滊車トイヘル題ニテ尋常四年生ニ作文(復文)ヲ敎授スヘキ草案ヲツクレ
(二)　良心ヲ說明セヨ
(三)　單級學校ノ得失ヲ論セヨ

（四）訓練ノ意義及其方法如何

一　德育ノ目的及ヒ其方法ヲ概記セヨ
二　兒童ニ授クヘキ智識ノ種類如何
三　體育ハ教育ノ基礎ナリト云フ理由ヲ述ヘヨ
四　教育ノ時期ヲ區別シ各期ニ於テ採ルヘキ教育
五　感覺ノ修練ニツキ特ニ注意スヘキ事項ヲ問フ
六　發問ノ種類、目的及ヒ効用ヲ説明セヨ
七　暗算ノ必要及ヒ其方法ヲ述ヘヨ
八　兒童ヲシテ課業ニ注意セシムルニハ如何ニスヘキカ
九　學校管理ノ目的ハ如何
十　校舍ノ建築ニツキ注意スヘキ件ヲ問フ

（一）學校教育ニ如何ナル制限アルカヲ説明セヨ
（二）管理教授訓練ノ意義及ヒ三者ノ關係ヲ解説セヨ
（三）遊戯ノ效能ヲ擧ゲ
（四）直觀ヨリ概念ヲ形成スルニ至ル作用ヲ一實例ニヨリテ説明セヨ

（五）ぺるはると氏ノ道德的觀念中「內心ノ自由」トハ如何
（六）修身科ニ於テ教科書ヲ讀講セシムルハ「教順中」何時行フベキカ
（七）始メテ平假名ヲ教授スル方法ヲ問フ
（八）法二位商一位ノ珠算除法ヲ教授スル順序方法如何
（九）尋常小學第三學年ノ教授時間割ヲ記案セヨ
（十）教室ノ採光ニ關スル設備及採光ニツキテ注意スヘキ件々ヲ記述セヨ

以上

一　道德的品性ヲ陶冶スル順序ヲ問フ
二　普通教育ニ於テ授クヘキ知識ハ如何ナルモノナルヘキカ
三　類化作用ノ必用及効力ヲ問フ
四　教育ハ自然ト人力トヲ待テ始メテ完全トナル理由ヲ問フ
五　教育ハ教育ノ基礎ナル所以ヲ説明セヨ
六　習字ノ成績ヲ佳良ナラシムル諸種ノ方法ヲ問フ
七　暗算力ヲ增進スル教授ノ方法如何
八　學校ト家庭トノ連絡ヲ圖ル方法ニツキ二三ノ考案ヲ問フ
九　自治ノ習慣ヲ養成スル方法如何

一〇、讀書科教授ニ於テ左ノ事項ノ觀念ヲ與フル順序方法ヲ記セヨ

大きなたかい山　（一學年程度）

勤王の大義　（三學年程度）

一、初等教育ノ目的ヲ論述セヨ

二、昔話物語ノ類ヲ教育上ニ用フル利害ヲ問フ

三、勝他ノ欲ハ教育上如何ニ之レテ取扱フヘキカ

四、黒板ノ製作ニ關スル諸要點ヲ說述セヨ

五、修身科ニ於テ教授スヘキ材料ノ種類ヲ列擧セヨ

六、始メテ平假名ヲ授クル場合ノ教案ヲ作レ

地理科

一　我國ノ外國輸出品トシテ特ニ重要ナル物産ヲ擧ケ並ニ其産出ノ盛ナル地方ヲ示スヘシ

二　我國ニ於ケル行政組織ノ大要ヲ問フ

三　三大統語トハ何ソヤ

四　左ノ地名ニツキ各知ル所ヲ記セ

新嘉坡（シンカポール）　漢口（ハンカウ）　馬尼剌（マニラ）　漢門（アモイ）

五　本縣下ノ三大河系ト並ニ其支流ノ重ナルモノヲ記セ

一、本縣ニ於ケル郡役所ノ位置ヲ問フ

二、本邦ニ於ケル山脈ノ大勢ヲ記セ

三、本邦ニ於テ左ノ事業ニ付最盛ナル地名二三ヲ擧ヨ

1　銅山業　2　山林業　3　搨附木業

四、左ノ國ニ付管轄ノ府縣ヲ記セ

1　河内　2　但馬　3　隱岐　4　小笠原島　5　對馬

五、左ノ都邑ニ付著シキ点ヲ記セ

1　糸崎　2　桐生　3　唐津　4　高田　5　輪島

一　本邦に於て航海業を營める會社にして最も盛なるものを問ふ且つ又該會社の定期航海

をなせる外國の港名を問ふ

二　本邦中左記の物産に就て著名なる國名を擧けよ

（イ）蜜柑　（ロ）藍　（ハ）鯨　（ニ）硫黄

三　左の地名につき各知る所を略記せよ

（イ）鎌倉　（ロ）關ヶ原　（ハ）足利　（ニ）太宰府

四　朝鮮國の物産にて我國に輸入せる重なるものは何か

五　沖積層とは何ぞや

六　獨立國燐國及保護國の別を記して各其實例を擧けよ

七　左に記載せる地名は何れの國の所轄なりや

（イ）クスマニヤ　（ロ）ヒリッピン群島

（ハ）香港　（ニ）カロリン群島

一、本縣ノ特産物二四ヲ擧ゲテ其最盛ナル地方ヲ記セ

二、山陽山陰兩道ノ地勢ヲ比較對論セヨ

三、本邦ノ海流ト漁業トノ關係ヲ述ベヨ

四、九州ノ輪廓圖ヲ畫キテ圖中ニ縣廳所在ノ地ヲ示セ

五、左ノ都邑ニ就キ著シキ点ヲ擧ゲヨ

1、福知山　2、高岡　3、浦和　4、弘前　5、室蘭

（一）縣下三大川ニ沿ヘル郡ヲ擧ケ且各川ニ臨ミ著名地三ッヲ指示スベシ

（二）湖沼ハ如何ニシテ成立セシモノナルカ

（三）圖ヲ以テ中國ノ境界ヲ明示スベシ

（四）南海道及ヒ西海道ニ於ケル工業發達ノ狀況ヲ比較セヨ

（五）水ノ運動ノ種類ヲ略說スヘシ

（六）本部支那ニ付テ知ル處ヲ記セ

（七）左ノ諸國ノ面積人口ヲ我國ト比較シ且其首府ヲ問フ

白耳義　　墺地利匈牙利　　墨西哥

一、岡山縣管內ニテ現今鐵道ノ貫通セル沿路ノ郡名ヲ記セヨ
二、畿內ノ地勢ヲ略記セヨ
三、本邦ニ於ケル雨量ト氣候ノ關係ヲ述ヘヨ
四、本邦貿易品ノ主要ナルモノ五六ヲ順次ニ擧ヨ
五、本邦ニテ左ノ產物ヲ出スハ何國ナルヤ

春慶塗　　南部紬　　有田燒　　五泉平　　郡內織

修身科

一　克ク忠ニ克ク孝ニ
二　子曰君子周而不比小人比而不周
三　子曰質勝文則野文勝質則史文質彬々然後君子
四　子曰鄕原德之賊也

右平易ニ解釋スヘシ但シ漢文問題ニハ句讀及返リ點ヲ附クヘシ

（一）一且緩急アレハ義勇公ニ奉シ
（二）子曰君子不レ重則不レ威學則不レ固主ニ忠臣一無レ友下不レ如レ己者上過則勿レ憚レ改
（三）子曰巧言亂レ德小不レ忍則亂ニ大謀一
（四）子曰衆惡之必察衆好レ之必察焉

右解釋ヲ求ム

（一）智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ
（二）子曰巧言令色鮮矣仁
（三）子曰學而不思則罔思而不學則殆
（四）曾子曰君子以文會友以友輔仁

一、子曰孟之反不伐、奔而殿、將入門策其馬曰非敢後也、馬不進也、
二、子曰、其身正、不令而行、其身不正、雖令不從、

右送假字　反り点　講義ヲ要ス

三、葉公語孔子曰、吾黨有ニ直レ躬者一、其父攘羊、而子證之、孔子曰、吾黨之直者、異ニ於是一、父爲子隱子爲父隱、直在ニ其中一、

右大意ヲ解釋シテ併セテ評論セヨ

四、朕惟フニ我皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ
右詳解セヨ
五、勅語中ニ於テ大旨ノ歸スル所ハ何レノ句ナルカ

(一) 我カ臣民克忠ニ克孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此我カ國體ノ精華ニシテ敎育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス

(二) 子曰人之生也直罔之生也幸而免

(三) 子曰知者樂水仁者樂山知者動仁者靜知者樂仁者壽

右求解釋但漢文可附訓點

(1) 一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ

(2) 子曰視ニ其所ヲ以觀其所ヲ由察ニ其所ヲ安人焉廋哉人焉廋哉

(3) 子曰君子不器

(4) 子曰德不孤必有ノ隣

國語科

一 文法

い 居名詞を作る法を問ふ
但し例を擧げて之を示せ

ろ 形容詞と副詞との區別を問ふ
但し例を擧けよ

は 未然段の動詞に結ひ付くる屬辭の種類を記せ

に 助動辭變化の職任を記せ

二 讀方

い 左の文を解せ
大伴と佐伯の氏は人の祖のたつる事だて人の子は祖の名絕だず○天氣好きに乘じて一隻の海鰍濱邊に逍遙し曳えず下總行德にはたれり

ろ 左の詞を訓め
大臣大連國造伴造○大君に順ふ者○おのつから沈淪し

三 作文

小學校敎員の責任
但し普通文

一　文法
　い　名詞格を記せ
　ろ　動詞助辞接續中
　は　左の文中係結を記せ
　　鳥の群ゐて池の蛙を取ければ御覽しかなしませ給ひてなんと人の語りしこそさてはいみしくこそと覺えしが

二　講讀
　左の文に假名を付し其意味を解せ
　　不是花中愛菊此花開盡更無花といへりしは菊をめでし心猶うすしこの花萬葉集にのらず古今集には詠じたれば奈良の御時までいまだもろこしよりきたらざりしこと今さら古を思ひやるにも猶ことたゝずうらみ多し

三　作文
　小學校生徒に降す命令の性質を論せよ

一、各種の變語動詞の變化を圖を以て示せ
二、左の假字の正否を問ふ
　オカヤマ（岡山）　オトオト（弟）　ユヘ（故）
三、形狀動詞を副詞となす場合は如何、例をあげて示せ　タエ（耐）　エボシ（烏帽子）　イチジルシ（著）
四、動詞の自他法を問ふ
五、らしとめりとの用法を問ふ
六、左の文を講義し併せて傍柱を施したるケ處を詳解せよ
　飛鳥川の淵瀨定めなき如くに、昨日は綾綿にまとはれし人も今日は肩ふたぐ計の衣だにも得難く、又其日のすきはひ、妻子を育むにも堪へじと見し人の、家建て并べて勢猛に詈るもあり、されば富めるも、貧しきを思ひて、いつもかゝるものとたゆたひて、奢るべからず

七、作文
　人は信なかる可らず　（普通文三百字以內）

一　文法
　い　居名詞を造る法方を問ふ
　ろ　動詞の種類を問ふ
　は　助辭の動詞に屬する法を問ふ
　　右各例を擧けて示せ

一　講讀

左の文に假名を附し又其意味を解せ

其智には及ぶべく其愚には及ふべからず○五月水無月の照りはたゝき霜月しはす
のふくこほる頃にはだしつるはさにてひねもすに立はしるとも云々○吉野の雪龍
田の錦は伯仲の間にあるべし

三　作文

硯の記

但普通文二百字已下

一　文法

い　左の文を解剖せよ

人の才能は文明にして聖の教を知れるを第一とす次に手かく事

ろ　左の文中に付き其誤る所を訂せ

此頃おしなへて二日三日人のわつろうこと侍りしをそかの鬼の虚言はこのし
るしを示せしなりけりとゆふ人も侍りき

二　講讀

左の文を解せ但し印の詞をは別に出して解け

ことさちつちをなしてうるおたるつらゝつばきつらゝに見れともわかすはしの
もとのさうひも夏をまちがはなりすべて春は草木の花立ちおくれていやおひにい
とましくおそくとくさきつゝ酴醾にいたりて花の事をはかぬるはなどりをし

三　作文

初等教育の必要

（一）動詞の時のわらはしかたを示せ

（二）禁止の助辞を列擧し各につきて動詞との結付かたを示せ

（三）左のことばともに其讀み方の假名を附せよ

（い）遠江　（ろ）炎　（は）基　（に）出納　（ほ）明治三十二年十一月

（四）左の文章どもにつき其誤れる諸點を訂正せよ

（い）太宰駿臺の著せし六諭衍義なる書は一時普く世に行はれしか

（ろ）汝は余の岡山へ行かんとするの理由を知れるや

（は）窓を開けば月を見ん月を見れば心澄む

（五）左の文章どもを解釋せよ

（い）本の差ひ毫釐ならねは末の誤り究りなきを奈何はせん

（ろ）老いては常に昔の事のみぞ思ばしき

(は)世に諂ひて心をまぐる類のきたなき事は絶えてすまじき事になん

(に)梅が香を櫻の花柳の枝になぞらへは思ふましき事なり花の紅柳の綠心をわけて樂しむべし

(十六) 作文

菊を觀る

普通文體三百字以內

一 文法

い 名詞を動詞とする法方を問ふ

ろ 滿といふ言の自動の作きは何段なりや

は 助辭の動詞に除する特例をあけよ

二 講讀

左の文を解け、

夏山のけしき青みわたりたる高き峰大空につらなりて雲の外にそびえたりわくまで見るこそことにすぐれて心を袂くするながめなれ白樂天が眼を放にして青山を見るといへるがごとし

三 作文

普通敎育の必要

但普通文二百字已下

一 文法

い 合名詞を作る方法を問ふ

ろ 動詞の見ると見さるとの別を問ふ

は たりと云ふ助動辭の其主詞名詞動詞にて別あるを問ふ

に 左の字に假名を記せよ

鴨 拇 鷄 水 脉 媒 鳥 刀 自(以上訓) 皇軍 東院 衰 冕 (以上音)

二 講讀

左の文を解せよ

應神の朝文史ありてより推古の朝始めて舊事記を修め天武の朝に及びて律令全く備はり萬世不刊の典となりしも歷代の史は總に光孝の御世に止まり嵯峨の朝弘仁格式新撰氏錄あり淸和の朝貞觀格式あり醍醐の朝延喜格式あるのみ云々

三 作文

習性と成るの說

但普通文二百字以內を限る

習字科

麋鹿成群虎豹避之
右楷行草三躰

麥含秀色柳結濃陰
右楷行草三躰

脩之身其德乃眞
右三躰

霜威折綿風力凝酒
右楷行草三躰

雪開瓊樹氷作瑤池
楷行草三躰

釜飛鷹章蟬曝繁柯
右楷行草三躰

圖畫科

自在畫
(一) 臨畫 松竹梅
(二) 寫生 土偶
用器畫
(一) 圓內ニ正方形ヲ容ル、ノ法
(二) 三等邊四角形內ニ最大ナル圓ヲ容ル、ノ法
答
(一) 暖カニ感ズル色ト冷カニ感ズル色トノ二三ヲ記セ
(二) 兒童ノ畫ニ附点スルニハ如何ナル方針ヲ以テスルヤ

自在畫
寫生 土瓶
但シ渲暈(くまどり)ヲ要セズ
用器畫
(一) 長サノ比一、三、二、五ナル各邊ヲ以テ成ル四角形ヲ畫ケ
(二) 任意ノ邊數ヲ有スル等邊ノ多角形ヲ畫ク方法ニヨリ等邊六角形ヲ畫ケ

自在畫（一）寫生題玩具

（二）臨畫題花

用器畫（一）等邊三角ヲ畫ク法

（二）圓ノ中心ヲ需ムル法

半答（一）甲乙丙ノ畫ノ中何レカ能キヤ

其順序ヲ記ルセ

自在畫

臨畫題　花瓶

高等科准教員

自在畫 (一) 寫生題玩具
(二) 臨畫題花
用器畫 (一) 等邊三角ヲ畫ク法
(二) 圓ノ中心ヲ需ムル法
筆答 (一) 甲乙丙ノ畫ノ中何レカ能キヤ
其順序ヲ記ルセ

自在畫
臨畫題 花瓶

高等科准教員

教育科

一　造構的想像力ノ育成ニ供スヘキ方便ヲ問フ
二　個性トハ何ソヤ個性ハ教育上如何ニ取扱フヘキカ
三　單級小學校ニ於ケル組別法ヲ問フ
四　怠情ナル生徒ヲシテ向學心ヲ起サシムル方法ヲ問フ
五　讀書教授ノ目的及挿畫ノ利用法ヲ問フ
六　教授ニ於テ智識ヲ比較スルノ必要如何

一　道德的感情ヲ說明セヨ
二　單級小學校訓練上ノ得失ヲ問フ
三　分數ヲ以テ整數ヲ除スル法ヲ授クル教案ヲ作レ
四　記憶力ヲ修練スル方法ヲ問フ
五　學校管理法ノ目的ハ如何

(1)　遊戲ノ教育上ニ於ケル價値幷ニ遊戲ニ關シテ注意スヘキ件々ヲ問フ

(2) 內心自由ノ理念ヲ說明セヨ
(3) 家庭ノ敎育ト學校敎育トガ連絡スベキ理由並ニ兩者ノ連絡ヲ通スベキ手段ヲ問フ
(4) 敎授ノ目的ヲ概說セヨ
(5) 高等小學第二學年生ニ分數觀念及之ガ表式ヲ敎授スル方法ヲ問フ
(6) 小學校ニ必要ナル表簿ハ何々ナルカ又其等ノ表簿ハ何ノ爲ニ調製スベキカヲ說明セヨ

以上

一、心理上概念構成ノ經路ヲ述ベヨ
二、何ヲカ敎育的敎授ト云フ、敎育的ナラザル敎授アリヤ
三、普通敎育上男女共學ノ利害ヲ論セヨ
四、「燃燒」ト云フ題目ニテ高等科第四年級理科敎授ノ敎案ヲ作レ
五、諸子カ經驗其他ニヨリテ自得シタル敎授ノ原則ヲ擧ゲヨ

修身科

(一) 大學之道在明明德在親民在止於至善
(二) 物有本末事有終始知所先後則近道矣

一 博愛衆ニ及シ

二 康誥曰克明德大甲曰顯誥天之明命帝典曰克明峻德
三 物有本末事有終始知所先後則近道矣
四 富潤屋德潤身心廣體胖故君子必誠其意

右平易に解釋すべし但し漢文の問題には句讀及返り點を附くへし

(1) 孔子曰非禮勿レ視非禮勿レ聽非禮勿レ言非禮勿レ動
(2) 諸葛武候戒子書曰君子之行靜以修身儉以養德非澹泊無ニ以明レ志非ニ寧靜一無以致遠

右求解釋

(3) 恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ」ノ意義ヲ述ベヨ

(一) 恭儉己を持し博愛衆に及ほし
(二) 子曰中庸其至矣乎民鮮レ能久矣
(三) 子曰巧レ言令レ色鮮矣仁
(四) 子曰惟仁者能好レ人能惡レ人
(五) 子曰躬自厚而薄責ニ於人一則遠レ怨矣

右解釋ヲ求ム

物理科

(1) 物体ノ分子、原子、三定義ヲ記セ
(2) 落体アリ其地面ニ達セシ時ノ速度三百二十尺ヲ有セリ此物幾尺ノ高サヨリ落下セシヤ
(3) 潜勢ト顯勢トノ區別ヲ例ヲ擧ケテ說明セヨ
(4) 異形ノ器中ニ盛レル各液体ガ自己ノ重量ニテ其器底ヲ下壓スル力ハ器ノ底面ニ液ノ深サヲ乘シタル積ニ比例スト云フ理ハ如何
(5) 比熱トハ如何
(6) 文仙電池ト「グレ子ツト」電池ノ構造及ヒ使用法ヲ記セ
(7) 電氣鐵金法ハ如何ナル理ニ依リテ爲シ得ルカ例ヲ擧ケテ之ヲ說明セヨ
(8) 兩凸「レンス」ヲ用ユレバ小物体ヲ大キク見得ル理ヲ圖解セヨ
(9) 音ノ共鳴トハ如何

(一) 一物体ニ有スル質量ト重量トハ同視スベカラザル理由ヲ述ベヨ
(二) 酒撒ヲ用ヒテ一器ヨリ他器ニ液体ヲ流移セシメ得ル理ハ如何
(三) 絶對溫度トハ如何之ヲ說明セヨ
(四) 物体ノ性質ニ因リテ異ナル色ヲ呈スル理ハ如何

(五) 紅線ノ振動數ニ關スル條件ヲ述ベヨ

(六) 電流ノ牽引及反撥並ニ電流ト磁力トノ牽引及反撥ニ就テ知ル處ヲ述ベヨ
(七) 熱電柱(熱電堆)ノ構造及作用ヲ述ベヨ

右

一、ニュートン氏牽引定律ヲ擧ゲテ之ヲ說明セヨ
二、樂音ノ高低强弱音色ハ何ニヨリテ生スルカ
三、高山ノ頂上ハ平地ヨリ太陽ニ接近セルニモ拘ラズ寒氣甚シキハ何ソヤ
四、三角形ノ小孔ヨリ太陽光線ヲ室內ニ導ケハ其影ハ如何ナル形ヲ呈ベキカ
五、電鈴ノ構造ヲ說明セヨ
六、發電體アリ其陰性ナルカ陽性ナルカヲ知ズ之ヲ識別スル方法如何但シ陰ニ發電シ得ベキ電氣盆ノ外發電器ヲ所持セズトス

化學科

(1) 天然水中ニハ何故ニ挾雜物ヲ含有スルカ又水ニ硬水軟水ノ區別アルハ何故ナルカ
(2) 空氣中ニテ蠟燭ヲ燃セバ水及ヒ二酸化炭素ヲ生スルヿヲ證明スルニハ如何ニシテ可ナルカ
(3) 鹽酸「ポタシウム」ト二酸化「マンガン」トヲ用キテ酸素ヲ製取スル方法及ヒ酸素ノ性狀

ヲ記セ

(4) 桶内ノ水中ニ魚類ヲ生ケルヤ活植物ノ枝葉ヲ其水中ニ入レ置ケハ魚類ノ疲勞スルヿ枝葉ヲ入レサルヤヨリ遲キハ何故カ

(5) 水ノ容積成分ト重量成分トヲ記セ

(6) 石灰ノ成分及ヒ性狀

(7) 鐵鑛ヨリ磚鐵(生鐵)ヲ製取スルニハ如何スヘキカ

(8) 銅鹽類ノ水溶液中ヨリ銅ヲ分離シテ沈澱セシムルニハ如何スヘキカ

(1) 「アルコホル」ハ水ニ溶解スルモ油ハ水ニ溶解セザル理ハ如何

(2) 普通物体ノ燃燒スルヿニ就テ知ル處ヲ述ヘヨ

(3) 酸ト鹽基ト鹽トノ區別ヲ說明セヨ

(4) クロル水素酸ヨリ鹽素ヲ製スル法並ニ鹽素ノ性質ヲ述ヘヨ

(5) 鹽酸、硝酸、硫酸ノ各性質効用ヲ述ヘヨ

(6) 金屬元素ノ特有性ヲ述ヘヨ

(7) 銅ノ合金ニ就テ知ル處ヲ述ヘヨ

(8) 某化合物ノ水溶液二種ヲ混和スルヤ其兩化合物中ニ存スル元素互ニ交換シ得ルヿヲ數例ヲ示シテ說明セヨ

右

一 空氣中酸素、窒素、炭酸瓦斯及水蒸氣ノ存在ヲ證スヘキ簡易ナル實驗法ヲ記セ

二 物体燃燒スレハ其重量ノ增加スル事實ヲ示スヘキ實驗法ヲ記シ其增加スル理ヲ說ケ

三 蠟燭ヲ材料トシテ生徒ニ理解セシメ得ヘキ化學上ノ事實ヲ列擧セヨ但其說明ヲ助ケン爲メ他ニ器械及藥品ヲ用フルモ妨ナシ

四 普通ナル諸鐵鑛ノ名稱ト各其成分ヲ記シ其一ヨリ鋼鐵ヲ製スル方法ヲ記セ

五 石鹼トハ何ソ普通ノ石鹼ノ製法ト其變化式ヲ記セ

博物科

(一) 纖毛蟲類ノ形質ヲ問フ

(二) 修蟲ニ就テ知ル所ヲ記セ

(三) 兩棲類ノ血液循環ニ就テ知ル所ヲ問フ

(四) 澱粉ヲ記載セヨ

(五) 雙子葉莖ノ構成ヲ問フ

(六) 風媒花ノ特性ヲ問フ

(七) 齒ノ造構ヲ記セ
(八) 脾ト八如何ナルモノナリヤ
(九) 血球ニ就テ知ル所ヲ問フ

(一) 根ノ造構ヲ問フ
(二) 卷鬚ト八如何ナルモノナリヤ
(三) 花ト昆蟲ハ如何ナル關係アリヤ
(四) 蛇類ノ形質ヲ記セ
(五) 異正蜘蛛類ニ就テ知ル所ヲ記セ
(六) あみいばト八如何ナルモノナリヤ
(七) 動脈ト靜脈ノ造構上ノ差異如何
(八) 肝臟ノ用ヲ問フ
(九) 氣管及氣管支ノ造構ヲ記セ

(1) 結晶ト八如何ナル形式ヲ有スルモノヲ云フカ又六晶系ノ區別ヲ記セ
(2) 黃硫鐵鑛ト黃硫銅鑛トノ成分性狀効用ヲ記セ
(3) 石英、燐、石灰、雲母ノ成分性狀、効用ニ就テ記憶スル所ヲ記セ

(1) 鷄卵ノ構造ヲ詳說セヨ
(2) 食物ニかびの生スル理幷ニ之レヲ防ク方法ヲ記セ
(3) 筋肉ノ組織幷ニ作用ヲ記セ
(4) 排泄系統ニ屬スル機關ノ名ヲ記セ
(5) 萱科、唇形科、十字科、及殼斗科ノ最主ナル特徵ヲ記セ
(6) 鐵、銅、銀、鉛、錫、亞鉛、水銀ヲ取出ス鑛物ヲ記セ
(7) 動物實驗
(8) 植物實驗
(9) 鑛物實驗

博物科

(一) 珊瑚蟲類一般ノ形質ヲ問フ
(二) 蝶ニ就テ知ル所ヲ記セ
(三) 翼手類ト八如何ナルモノナリヤ
(四) 葉ノ造構ヲ問フ

(五) 花托ニ就テ知ル所ヲ記セ
(六) 乳汁導管ヲ記載セヨ
(七) 冷水浴ハ身体ニ如何ナル効益アリヤ
(八) 全身ノ血液ノ量ハ凡ソ幾何ナリヤ
(九) 胃ニ就キテ知ル所ヲ記セ

國語科

一 文法

い 言といふ語に付きて作用言自他の六種を記し其の例を擧けて之を示せ

ろ せはといふ言葉の已然言と未然言とになる理由を記し其例を擧げて之を示せ

は なんといふ言葉の未然言と連用言との關辞にありて其の異なる理由幷に其例を示せ

に 左の文中誤る所を訂せ

家康公は道灌の築きし城を本丸とし四方の石垣も寔もおさめかえられて大城となしとゝのえられし

は 左の語の假名を記せ

二 講讀

左の文を解け

ゆき〳〵て倉梯の里にいでぬこゝはかの櫻井よりくる道なりけり初瀬よりこし程え二里多武峯までえ猶一里有りとぞしばし休める家にて例の都の跡を尋ぬれは此の里中に金龍寺と申す寺ぞ其の御跡に侍る云々

三 作文

小學校に於ける教授の目的

一 文法

い 名詞の種類を擧けよ

ろ 作用言中國語の他の活に轉して自他の別を生する理由を記せ

但し例を擧けて之を示せ

は 助辭の時を記せ

但し例を擧けよ

に 係結を記せ

但し例を擧けよ

は　左の詞幷文字の假名を記せ

二　讀方

巖田舍幾用老鯛翁王插僧

い　左の文を解せ

御國の古事を根さしとしてみつらしく萌えにし岡部の一くさ〴〵に分れて云々やまともろこしとり〳〵に千種の色の匂ふなへに新井の清水をよはかるて根さしそめつる異國々の學艸さへおひそめて云々

三　作文

家庭敎員

但し普通文

一　文法

い　通音通韻の事を問ふ

ろ　拗音の事を問ふ

は　音便の事を問ふ

に　左の歌を解剖せよ

まさきやまつさかくらひてふくろうのなくなかときにいへしぬはるも

二　講讀

左の文を解せよ

翠華のさとを發たせ給ひてより箱舘え至らせ給へるまで日章の旗を掲げぬ處なしさるは供奉の人に目の及ふ限はいかなる深山の奥のふせ庵浦の渚のひつやといへどもみなしまりたゝそれのみならず行在所となれる驛は更にも云はせ過ぎさせ給ふ村里は軒ば水桶を出し云々

三　作文

雨窓に戰史を讀む記

但普通文二百字以内に限る

一、

左の語どもに就き各活用の變化を問ふ

試、購、掲、率、侍、

二、

動詞に結付くへき希求辭と躰言に結付くへき希求辭とを例をあげて示せ

三、

疑問助辭のやとかとの別を問ふ

四、

左の文に就き誤謬あらば正せ

い　志ある者は事ついに成ると古人は云へりし

ろ　縱令身は敵の砲丸に粉碎されて死ぬるとも御國を護る魂は永く此土に留りて離れやはせぬ

五、左の語ともに訓假名を施すべし

白魚、青梅、位、氏、老皺

六、左の文を講義せよ

絹張山にさく花も、扇か谷にちる紅葉も、うつり行く世の、常なきさまをやしめすならし。まことや、星月夜鎌山の世々輝きたるは、雲居遙の昔にして、彼の政所の跡は離々たる禾黍の畠となり。時めける人の名は寂々たる塔婆の石に殘れるのみ。

七、作文(普通)

櫻花を愛する人は亦自ら櫻花に似たり

漢文科

(一) 孟子曰羿之教人射心志於彀學者亦必志於彀大匠誨人必以規矩學者必次規矩

(二) 孟子曰羈者之民驩虞如也王者之民皞々如也殺之而不怨利之而不庸民日遷善而不知爲之者夫君子所過者化所存者神上下與天地同流豈曰小補之哉

孟子曰廣土衆民君子欲之所樂不存焉中天下而立定四海之民君子樂之所性不存焉君子所性雖大行不加焉雖窮不揖焉分定故也君子所性仁義禮智根於心其生色也睟然見於四盎於背施於四體々々不言而喩

右句讀及返點ヲ附ケテ平易ニ解釋スヘシ

(1) 今閣下爲ニ輔一相亦近耳天下賢才豈盡擧用姦邪讒佞欺負之徒豈盡除去四海豈盡無虞九夷八蠻之在ニ荒服之外一者豈盡賓貢

(2) 古之君子過則改之今之君子過則順之古之君子其過也如ニ日月之食民皆見之及ニ其更一也民皆仰レ之今之君子豈徒順之又從爲ニ之辭一

(一) 伯樂一過ニ冀北之野一而馬群遂空夫冀北馬多ニ於天下一伯樂雖下善知上馬安能遂空ニ其群一邪解レ之者曰吾所レ謂空非レ無レ馬也無ニ良馬一也伯樂知レ馬遇ニ其良一輙取レ之群無レ留レ良雖レ謂レ無レ馬不ニ爲虛語一矣

(二) 梁惠王曰寡人之於レ國也盡レ心耳矣河內凶則移三其民於ニ河東一移三其粟於ニ河內一河東凶亦然察ニ隣國之一政無レ如下寡人之用レ心者上隣國之民不レ加レ少寡人之民不レ加レ多何也

右解釋ヲ求ム

算術科

珠算

(1) 三反三畝廿四歩　五反六畝拾七歩

八反九畝廿五歩　七反八畝拾歩
四反五畝廿八歩
右ノ和ヨリ左ノ數ヲ減スヘシ
貳町七反三畝廿六歩

(2) 三万貳千三百七拾貳圓ヲ貳千三拾八倍セヨ

(3) 五千四圓九分九厘ヲ貳百三拾五分スヘシ

(1) 甲乙二人共ニ働キテ前半月ノ終リニ金三拾九圓ヲ得タルモ乙ノ就業日數ハ十二日ナリ後半月間ニハ金三拾二圓ヲ得テ乙ノ就業ハ九日ナリ各一日ノ賃錢幾何

(2) $4\left(11\frac{1}{9}\times 11+\frac{7}{25}+\frac{1}{4}\right)2\frac{3}{4}+3\frac{1}{12}$

(3) $1-\frac{000129}{733}$

或仕事ヲ三十六日間ニ成功セシムル爲メ二十人ヲ雇入レタリ仕事ニ取掛タルヨリ六日ノ後ニ二人ハ疾病ニ罹リ其後三日ヲ經タル時事故ニヨリ四人ヲ解雇セリト云フ今若シ人數ヲ補缺セサル時ハ最初ヨリ仕事ノ終ルマテニ幾日ヲ要スルカ

(4) 大小二數ノ和ト差トノ積ハ百八十五個ニシテ小キ數ハ十六個ナリト云フ大ナル數ハ何

(5) 或商人ア月金七百六拾圓ノ貨物ヲ買入レシニ現金ニテ支拂フコトヲ得サルヲ以テ五ケ月後ニ支拂フヘキ約束手形ヲ賣主ニ與ヘタリ由テ此手形ノ額面ヲ問フ　但割引率年ニ六分トス

注意　問題ニハ算式答及解說ヲ附シ式題ニハ運算ト答トヲ附スルヲ要ス

簿記

(1) 單記複記ノ區別ヲ問フ

(2) 貸借ノ意義如何例ヲ上ケテ之ヲ說明セヨ

(3) 帳簿ノ誤記ヲ訂正スル方法如何

(4) 試算表及損益表ノ製方及效用如何

一　誤記訂正法ヲ記セ

二　醫者ノ日用簿記ニ於テ收入內譯帳ノ科目ヲ記シ且ツ其解ヲ述ヘヨ

三　商用科ノ日記帳ト元帳ニハ夫々如何ナル事項ヲ記スルヤ

四　他ノ事項ニ付テ損益表ヲ製セヨ

明治三十一年四月三十日

商品ノ賣上高二百五十三圓八十五錢

殘品ノ代價三百七十六圓三十二錢五厘

仕入高五百十八圓三十錢

雜益八圓三十錢

營業費七十三圓五十錢

家事費二十五圓四十錢

雜損三圓七十錢

幾何

(1) 平角、直角、補角、對頂角トハ何ヲイフカ

(2) 直角三角形ノ斜邊ノ中点ハ其三ツノ頂點ヨリ等距離ニアルヿヲ證明セヨ

(3) 一直線外ノ一点ヨリ此直線ニ垂直線ヲ引クヿ

(4) 梯形ノ庭園アリ其平行邊ノ距離ハ五十六「メイトル」ニシテ平行邊ノ長サハ三十八「メイトル」ト七十四「メイトル」ナリ之ト同面積ナル正方形ノ一邊ノ長サヲ求ム

(5) 球ノ半徑ヲ知テ其表面積及体積ヲ求ムル算法如何

(一) 或ル與ヘラレタル整數1、2、3、4、5、6、ノ各ニテ整除シ得ルヤ否ヤヲ見出ス簡便法如何

(二) 三人醵金シテ價格千二百五拾圓ノ家屋ヲ購買シ一人ハ其3/10今一人ハ3/15ヲ拂ヒタリトイフ殘ル一人ノ拂ヒシ金高幾何

(三) 金貳千貳百〇五圓ヲ三人ニ分配スルニ甲ノ所得ト乙ノ所得トノ比ハ七ト八トノ如ク乙ノ所得ト丙ノ所得ノ比ハ五ト九トノ如シトイフ由テ各ノ所得ヲ問フ

(四) 直角形ノ地所アリ其面積ハ三千九百六十九坪ニシテ間口ト奥行トノ割合ハ四ト九ノ如シ間口及奥行各幾間ナリヤ

珠算

(一) 加法 五十三石、二十四石五斗、百四十一石五升三合、四石三斗二升三合、二百五十三石八斗、

答四百七十六石六斗七升六合

(二) 除法・實七百三十六圓九十二錢 法二百〇七

答三圓五十六錢

（一）立体、表面、線、點ヲ說明セヨ
（二）三角形ノ内角ノ和ハ二直角ニ等シキコトヲ證セヨ
（三）二等邊三角形ノ等邊ニ對スル角ハ互ニ等シキコトヲ證セヨ
（四）一等直線ヲ任意ノ數ニ等分スル畫法ヲ示セヨ
（五）錐体（一角錐）及圓錐ノ体積ヲ求ムル算法ヲ問フ

（一）商業ニ帳簿ノ必要ナル所ヲ問フ
（二）日記帳及元帳ニハ如何ナルコトヲ如何ニ記載スルカ
（三）誤記訂正ノ方法如何
（四）貸借ノ意義ヲ例ヲ擧テ詳ニ說明セヨ

地理科

一、橫濱港ヨリ汽船ニ乘シテ北海道小樽ニ至マテノ海路ヲ記シ併セテ其寄泊スベキ港名ヲ擧ケヨ

二、安房國但馬國八丈島淡路國大隅國ハ何レノ府縣ノ管轄ニ屬スルヤ

三、本縣の氣候を問ふ

四、左の地名につき各知る所を記せ
（イ）富岡　（ロ）足尾　（ハ）上川郡
（ニ）ニューファウンドランド　（ホ）セントヘレナ

五　地球内部の狀態を問ふ

六　氷雪時代とは何ぞや

七　亞細亞洲に於ける英國の領地を擧げよ

八　希臘國につき知るところを記せ

九　自由都府とは何ぞや併せて其例を示せ

一〇　示されたる岩石の名稱並に其成因如何
（イ）大理石　（ロ）花崗岩　（ハ）頁岩

一　海陸軟風ノ生スル理由如何

二　本縣ニ於ケル港ノ重ナルモノヲ記セ

三　北陸道ニ雨雪多キ理由ト瀨戸内海沿岸ノ乾燥ナル理由トヲ示スヘシ

四　山陰山陽兩道ニ於ケル縣廳ノ所在地ヲ示メシ其ノ所轄ノ國名ヲ附記スヘシ

五　左ノ地名ニツキ各知ル所ヲ記スベシ

（イ）牛莊（ニウチヤン）　（ロ）浦鹽斯徳（ウラジヴォストク）　（ハ）磐谷（バンコック）　（ニ）里昂（リヨン）　（ホ）シカゴ

一　縣下郡役所ノ所有地及其管轄郡名ヲ問フ
二　四國ノ地勢ヲ記シ併セテ著名ナル山河ヲ列擧セヨ
三　東海道諸國ニ於ケル府縣廳所在地ヲ擧ゲ且ツ其地ノ特産物ヲ記セ
四　支那帝國ノ重要ナル輸出品ヲ問フ
五　キユバニ就キ知ル所ヲ記セ
六　左ノ地名ニ就キ知ル所ヲ記セ
　久留米　大湊　サイゴン　ホノルヽ　リスボン
七　潮汐ノ生スル原因ヲ說明セヨ
八　雲ノ形狀ニヨリテ天氣ヲ豫知スルコトヲ述ベヨ

一　國道、縣道、里道ノ別ヲ問フ
二　本邦中第一ノ養蠶地方トモ稱スベキハ何道ナルヤ且該道ニ就キ蠶糸絹布ノ中心ヲ稱スヘキ都府十以上ヲ擧ゲヨ
三　支那帝國ノ重ナル產物ヲ擧ゲヨ
四　歐羅巴全州ノ地圖ヲ畫キテ圖中ニ於テ左ノ位置ヲ示セ

（1）モスコー　（2）コンスタンチノープル　（3）ベルリン
（4）パリ　（5）ロンドン

五　夏冬溫度ヲ異ニスル理由ヲ說明セヨ
六　山陰道ハ十二月ヨリ二月下旬迄ハ太陽ヲ見ルコト稀ナリト云フ其理由ヲ說明セヨ

（一）九州ノ略圖ヲ描キ都會港灣ヲ記入セヨ
（二）揚子江沿岸ノ市府ヲ記セヨ
（三）英、佛、獨、露、四國ノ政体產物及都會ヲ記セヨ
（四）四季ノ變化アル理由ヲ詳說セヨ
（五）氣壓計並ニ寒暖計ノ構造ヲ說明セヨ
（六）山林ヲ濫伐スル時ハ如何ナル災ヲ生スルカ其理由ヲ說明セヨ

歷史科

一　蕃人所及檢非違使廳ハ何レノ時代ニ置カレ如何ナルコトヲ管掌セシカ
二　南北朝分立次第ヲ述ヘヨ
三　本邦洋學ノ起原ヲ問フ

四　鎌倉時代ヨリ徳川時代ノ初ニ至ルマテノ外交ノ情況ヲ述ベヨ

五　佛教ノ渡來ハ我民心ニ何等ノ影響ヲ與ヘシカ

六　東山時代美術發達ノ景況如何

七　左ノ人々ノ事蹟ヲ問フ

平忠盛　木戸孝允

保科正之

一　蝦人所及檢非違使廳ハ何レノ時代ニ置カレ如何ナル事ヲ管掌セシカ

二　南北朝分立ノ次第ヲ述ベヨ

三　本邦洋學ノ起原ヲ問フ

四　古代印度ニ於ケル人民ノ階級ハ如何ナリシカ

五　義騎制度トハ如何

六　佛國大革命ノ源因ヲ問フ

七　左ノ人々ノ事蹟ヲ問フ

平忠盛　鄭芝龍

ブダよ、スミッス　アレキサンダー大王

一　遣唐使ハ何ぞや及ビ此に關する制度を記せ

二　刀伊賊來寇の顚末を叙せ

三　織田信長勤王事蹟を述べよ

四　貨幣一件の顚末を記せ

五　鳥羽伏見の役を略記せよ

六　五條の御誓詔を問ふ

七　左の事蹟を解釋せよ

（イ）御名代の民　（ロ）埴輪

（ハ）足高　（ホ）檢免及定免

八　左の人々の事蹟を略記せよ

（イ）兼好法師　（ロ）中院通村

（ハ）鳥佛師　（ホ）佐久間修理

一　大化改新の要領を問ふ

二　蘇我物部兩氏軋轢の源因を問ふ

三　德川氏の諸侯に對せし政略を問ふ

四　承久亂の顚末を問ふ

（ハ）歌垣　（ニ）竹内式部

五、左の人々の重なる事跡を略記せよ

(イ) 藤原隆家　(ロ) 藤原衆良　(ハ) 僧　玄慧

(ニ) 塙　保己一　(ホ) 前野良澤

一、桓武天皇ノ二大事業ニ就テ簡單ニ記セヨ

二、鎌倉時代ニ起リシ佛教諸宗ノ名ヲ問フ

三、應仁ノ乱後群雄割據ノ有樣ヲ簡單ニ記セ

四、左ノ事柄ヲ簡明ニ說明セヨ

(1) 班田收授法　(2) 筑後河ノ戰

五、左ノ人物ノ顯著ナル事蹟ヲ記セヨ

(1) 阿部比羅夫　(2) 林信勝

(一) 大化以前地方政治ノ狀態ハ如何

(二) 左ノ各年號中ニ起リタル重要事項ヲ記セヨ

(1) 養老　(2) 正平　(3) 安政

(三) 左ノ人々ニツキ知ル處ヲ記セ

(1) 厩戸皇子　(2) 平忠盛

(3) 新井白石

(四) 承久役ノ顚末ヲ記セ

(五) 關原役東西各軍ノ將士ハ誰々ナリシカ

習字科

天道積聚衆精以爲光

右三躰

弓矢トル業ニカヘツ、ヨムフミニ

心ノマトチトホシテシカナ

右歌文躰ノ假名ニテ書ケ

御己貴厳勤御事要明斷

右三躰

躰操及圖畫科

兵式体操　体操教範第一部第一章

普通体操　徒手体操第一演習　球竿体操

自在畫　(1) 寫生題　玩具　(2) 臨書題　草花

用器畫　(1)　圓內ニ內ニ最大ナル三箇ノ同圓ヲ畫ク法

(2)　直線アリ縱面ニ並行シ地平面ニ七十度傾ケル正面及平面圖ヲ需ム

筆答　(1)　此畫ニ就テ其見ル處ヲ記ルセ

自在畫

(一)　新案題　松葉

(二)　臨畫題　竹　但濃淡ヲ施ス事

用器畫

(一)　圓の中心を求むる法

(二)　等邊五角形を作る法

兵式體操　體操敎範第一部第一章

普通體操　徒手體操第一演習　啞鈴體操第一演習　球竿體操

右實地

兵式體操　體操敎範第一部第一章

普通體操　徒手體操第一演習　啞鈴體操第一演習　球竿體操

右實地

兵式體操　體操敎範第一部第一章

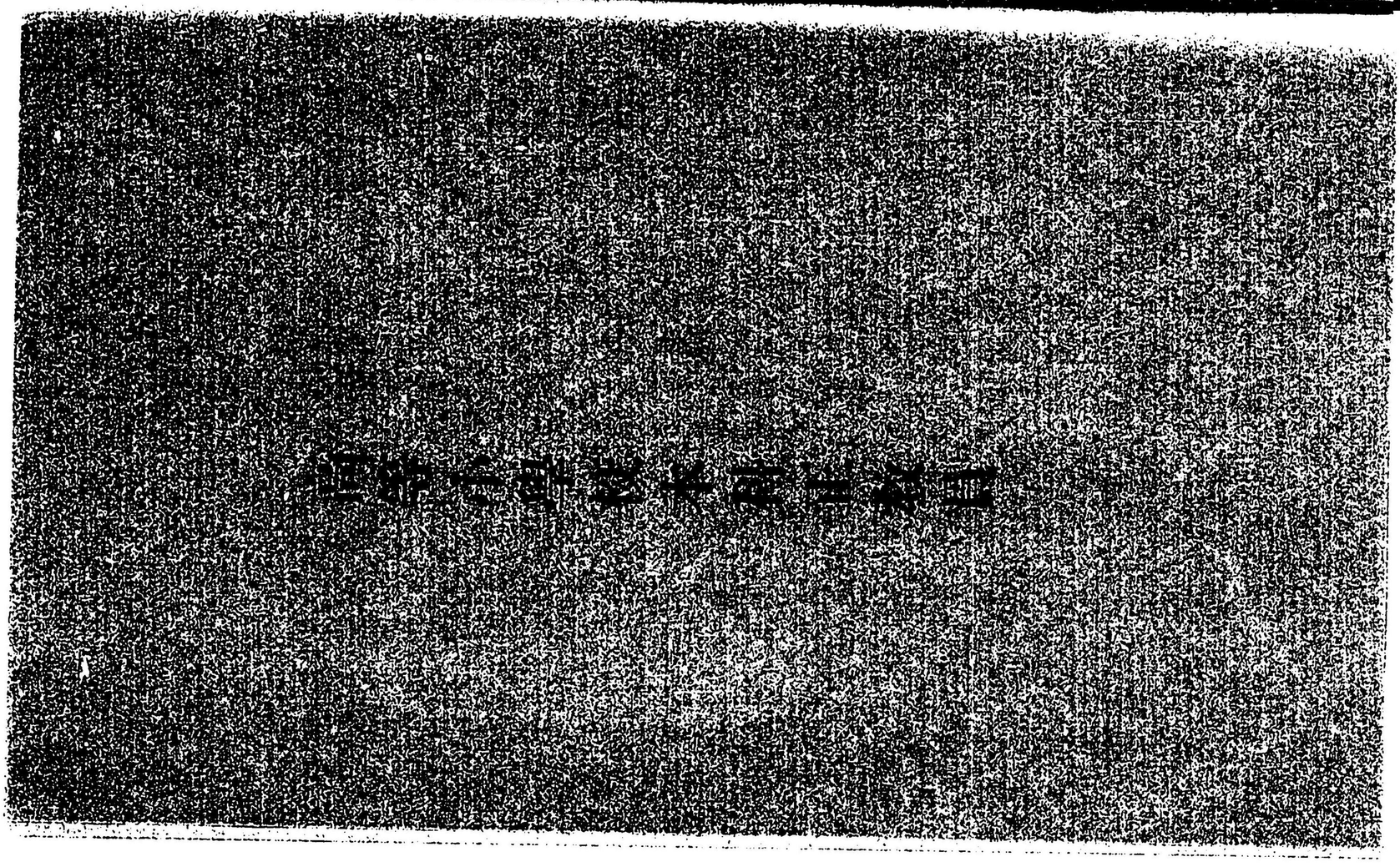
普通體操　徒手體操第二演習　啞鈴體操第一演習　球竿體操

右實地

兵式體操　體操敎範第一部第一章

普通體操　徒手體操第二演習　啞鈴體操第一演習　球竿體操

右實地



高等小學校本科正教員

數學科

算術

筆算

(一) 或ル與ヘラレタル整數1、2、3、4、5、6、9ノ各ニテ整除シ得ルヤ否ヤヲ見出ス簡便法如何又1 2 3 4 5 6ヲ上ノ各數ニテ除スルキノ殘數ヲ求メヨ

(二) 三人醵金シテ價格一千二百五十圓ノ家屋ヲ購買シ一人ハ其3/10今一人ハ其3/15ヲ拂ヒタリト云フ殘ル一人ノ拂ヒシ金高幾何

(三) 金貳千七百圓ヲ三人ニ配分スルニ乙ノ所得ハ甲ノ所得ノ二倍ニ八圓ヲ加ヘタルモノニ等シク丙ノ所得ハ甲乙ノ和ヨリ八十五圓少キモノニ等シキヲ要ス由テ甲乙丙ノ所得ヲ問フ

(四) 一ッノ箱アリ高サハ幅ノ三倍長サハ高サノ二倍ニシテ其体積一九一六六四立方寸ナリ長幅高各幾何

珠算

(一) 加法二十五石八斗二升三合、五石四斗二升、二百七十三石二斗五升五合、

八斗七升五合、三百七十二石〇七升七合、

答六百七十七石四斗五升

(二) 除法實 七百三十六圓九十二錢 法 二百〇七

答三圓五十六錢

(一) 三段三畝二十四歩　五段六畝十七歩

八段九畝二十五歩　七段八畝十歩

四段五畝二十八歩

右ノ和ヨリ左ノ數ヲ減スヘシ

二町七段三畝二十六歩

(二) 三万二千三百七十二個ヲ二千三十八倍セヨ

(三) 五千四個九分九厘ヲ二百三十五分スヘシ

一 左ノ呼聲ノ用方幷ニ理由ヲ問フ

甲 四二添作ノ五

乙 七二下加ノ六

丙 倍三戻ス

二 左ノ題ニ就テ定位ノ方法幷ニ其理ヲ記セ

甲 二分五厘ニ三毛四一ヲ乘セヨ

乙 千六百八十万ヲ五千六百ニテ除セヨ

三 左ノ問ニ答ヘ且運珠ノ方法ヲ記セ

甲 土地ノ周圍三里一四一六アリ複名數ニテ示セヨ

乙 道程三里二十七町五十四間ヲ里ノ單名數ニ改メヨ

代數科

(一) $a-7b$ ニ $+8b$ ヲ乘セヨ

(二) $6x^2-7x$ ヲ $2x-3$ ニテ除セヨ

(三) 九里ヲ隔テタル二人ガ同方向ニ進ムトキハ九時間ニテ出遇ヒ又向キ合ヒテ進ムトキハ三時間ニテ出逢フト云フ各人毎時ノ速度如何(方程式ニヨリテ解ケ)

ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{\frac{a+x}{a-x}-\frac{a-x}{a+x}}{\frac{a+x}{a-x}+\frac{a-x}{a+x}}$$

(五) $a:b::c:d$ ナラバ $a+b:a-b::c+d:c-d$ ナルベシ之ヲ證明セヨ

(六) 二ノ短形アリ何モ四百八十平方尺ニシテ其等ノ長サノ差ハ十尺幅ノ差ハ四尺ナリトイフ其等ノ兩邊幾何

(方程式ニヨリテ解ケ)

(一) $1-10x^2+17x^4+32x^6-5x^8$ ヲ $(1\times 3x+x^2)(1-3x+x^2)$ ニテ除セヨ

(二) 農夫アリ二區ノ水田ヲ借ル其借地料一反ニ付甲區ハ米一石五斗乙區ハ米一石二斗ニシテ其全借地料ハ米拾石五斗ナリ若シ借地料一反ニ付甲區ハ一斗乙區ハ貳斗ヲ減スレバ其全借地料ハ九石貳斗トナルヘシトイフ各區ノ反別ヲ問フ

(三) $\left(1-\frac{1-a}{1\times a}+\frac{1+2a^2}{1-a^2}\right)+\frac{2a+1}{5(a+1)}$ 簡單ニセヨ

(四) 或人八里ノ道ヲ旅行スルニ三里歩シタル毎時ノ速サ一里ヲ減セシユヘ二時間半延着セリトイフ旅行間ノ時間ヲ問フ

$$1\times\frac{1}{3}+\frac{1}{9}+\frac{1}{27}+\cdots\cdots$$

一 兩數量ノ積ニ於テ兩因子同符號ナレハ正ニシテ異符號ナレバ負ナリト云フ其理由ヲ問フ

二 $8x^3-y^3+z^3+6xyz$ ヲ $y-z-2x$ ニテ除セヨ且ツ其運算式ヲ附セ

三 $x^3-\frac{1-x}{1+\frac{1-x}{x+1}}$ 此式ヲ最簡ニナセヨ且ツ運算ノ順序ヲ記セヨ

四 二數字ヲ以テ二位ノ數兩種ヲ作ル其兩數ノ和九十九ニシテ兩數ノ差四十五ナリ二數字各幾何

但シ式幷ニ運算ヲ附セ

幾何科

(一) 仝一ノ直線ニ垂線ナル直線ハ互ニ平行ナリ

(二) 上ノ定理ノ對偶逆及裏ヲ記載セヨ

(三) 與ヘラレタル圓ニ外接シ與ヘラレタル三角形ト等シキ角ノ三角形ヲ作ルヿ

(四) 切線及切点ヨリ引ケル弦ノ夾ム角ハ各隣ノ弓形ニ於テノ角ニ等シ

(五) 一ツノ三角壔ハ三ツノ相等シキ三角錐ニ分ツヲ得

(一) 二ツノ三角形アリ如何ナル條件ヲ有スルトキ全相等シキヤヲ云ヘテノ條件ヲ列擧セヨ

(二) 四邊形ノ周ハ二ツノ對角線ノ和ヨリ大ナルヿヲ證セヨ

(三) 圓ニ内接スル四邊形ノ一双ノ相對スル邊カ相等シケレバ他ノ一双ハ平行ナルコトヲ證セヨ

(四) 與ヘラレタル直線ノ上ニ與ヘラレタル角ヲ含ム弓形ヲ畫ケ

(五) 一ツノ立体角ノ項点ニ於テノ平面角ノ和ハ四直角ヨリ小ナルヿヲ證セヨ

簿記科

(一) 單記複記ノ區別ヲ示シ其得失ヲ比較セヨ

(二) 貸借ト資産負債利益損失トノ關係如何

(三) 次ノ日記帳ヨリ複式仕譯帳ヘ記入セヨ

一日 本日資本主ヨリ左ノ元入ヲナナシ商賣ヲ始ム
一正金 一二、〇〇〇、〇〇〇
一商品現在高正米五百石一石六圓替 三、〇〇〇、〇〇〇
二日 店用器品買入代金現金ニテ仕拂フ
三日 武居俊藏ヘ現金ニテ賣渡ス 正米二百石一石六圓五十錢替
仝日 兒玉謙次ヨリ掛ニテ買入ル 大麥五百俵一俵金一圓五十錢替
五日 本月分保險料現金ニテ支拂フ

	金額
小計	一五、〇〇〇、〇〇〇
	二四五〇〇〇
	一、三〇〇〇〇〇
	七五〇〇〇
	一五〇〇〇
	一七、四四五〇〇〇

(一) 借方ハ資産ノ全部及損失ノ總高ヲ含有シ貸方ハ負債ノ全部及利益ノ總額ヲ含有スルヿヲ夫々例ヲ擧テ說明セヨ

(二) 元帳ニ記載スル事項及記入スル方法ヲ問フ又其單式ト複式トノ異ナル點ヲ示セ

(三) 次ノ取引ノ貸借ノ仕譯ヲナセ

甲、資本主ヨリ出金元入金トシテ現金七千圓

乙、淺野陽吉ヘ掛ニテ賣渡大麥五百俵一俵ニ付金壹圓八十錢替

丙、六條隆吉ヨリ買入大麥千俵一俵ニ付金壹圓六十錢替

丁、商業費用合計金貳百五拾圓現金ニテ支拂

(四) 次ノ表ヨリ純利益ノ高ヲ見出セ

商品	賣揚高	壹萬壹千〇九十圓
	賣殘高	四千五百圓
	仕入高	壹萬四千五百圓
什器	買入原價	二百四十五圓
	現品評價額	二百十圓
營業諸入費		四百五十圓
純利益		

算術科

一 左式ノ結果ヲ求メヨ

(イ) $1\,0\,5\,3,2\,5 \div (4\,0,5 - 3,8)$

(ロ) $7,6\,2\,0\,6\,2\,0 \times 0\,5\,7\,5\,7\,\cdots\cdots$

二 直角形ノ宅地ノ面積ハ千六百八拾坪ニシテ間口ト奥行トノ和ハ八拾三間ナリト云フ奥行及ヒ間口ノ各ヲ問フ

三 貳人ノ職工アリ共ニ錦ヲ織リテ金百四拾圓ヲ得タリ然ルニ甲ハ四日間ニ五尺ヲ織リ上ケ乙ハ二日ト三分ノ一ニ三尺ヲ織リ上ケタリト云フ由テ各夫ノ所得金ヲ問フ

四 鐵塊二ツアリ甲塊ノ五分ノ二ハ乙塊ノ四分ノ五ハ甲塊ノ九分ノ四ニ等シト云フ各塊ノ重量幾何ナルカ

五 元金若干圓ヲ年利四分七厘五毛ニテ貸附シ三年六ケ月ヲ經テ元利ヲ收入シコノ元利ヲ更ニ年利五分ニテ貸附スルトキハ利息金八百五拾圓ヲ得ルト云フ由テ最初ノ元金ヲ求ム

注意 問題ニハ算式答及ヒ解說ヲ附シ式題ニハ運算ト答トヲ附スルヲ要ス

修身科

一　恭倹己ヲ持シ
二　天命之謂性率之謂道修道之謂教
三　博學之審問之愼思之明辨之篤行之
四　誠者自成也而道自道也誠者物之終始不誠無物是故君子誠之爲貴

右平易に解釋すべし、但し漢文の問題には句讀及返り點を附すべし

(一)　朕爾臣民と倶に拳々服膺して咸其の徳を一にせんことを庶幾ふ
(二)　天地之道可二一言而盡一也其爲レ物不レ貳則其生物不測
(三)　詩曰伐レ柯伐レ柯其則不レ遠執レ柯以伐レ柯睨而視之猶以爲レ遠故君子以レ人治レ人改而止
(四)　子曰暴虎馮河死而無レ悔者吾不レ與也必也臨レ事而懼好レ謀而成者也

右解釋ヲ求ム

一　君子中庸小人反中庸
二　道不遠人人之爲道而遠人不可以爲道

(一)　子曰父在觀二其志一父沒觀二其行一三年無レ改二於父之道一可レ謂レ孝矣
(二)　子曰放二乎利一而行多レ怨

右求解釋

(三)　「國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒヨ」意義ヲ述ヘヨ
(四)　國體ト政體トノ差別ヲ我國ノ國體ト政體トニ論及セヨ

教育科

一　教育ハ統一ヲ有スベシトノ主義ヲ詳說シ幷セテ其方法ヲ述ベヨ
二　教育手段トハ何ソヤ其種類ヲ列擧シテ之ヲ說明セヨ
三　單級小學校ノ教授上ニ於ケル得失如何
四　算術科教授ノ目的及其問題撰擇ニツキテ注意スヘキ要件ヲ問フ
五　本邦中古ニ於テ教育ノ權僧侶ノ手ニ歸セシ原因如何
六　モンテーン氏ノ教育法ヲ述ベ且ツ之ヲ概評スベシ
七　教室内ノ靜肅ヲ保チ兒童ヲシテ課業ニ注意セシムル方法ヲ問フ
八　本綜ニ於テ規定セル兒童成蹟調査ノ方法ヲ述ヘヨ

一、想像作用ヲ説明シ幷シテ其教育上ノ効果ヲ述ベヨ

二、人類ノ遵奉スベキ一般ノ生活法ヲ問フ

三、左ノ人々ノ教育主義ヲ擧ケテ之ヲ批評セヨ

イ、モンテーン

ロ、コメニウス

ハ、スペンサー

四、高等小學校第一學年ノ教授時間割ヲ作レ

五、左ノ場合ニ於ル學級ノ編制及教員ノ配置ハ如何ナルヘキカ

イ、尋常小學校　生徒總數八十人

ロ、高等小學校　生徒總數三百人（内女生徒總數五十五人）

六、修身科教授案ノ完全ナル形式ヲ示セ但教科書ヲ用フル場合トス

（一）始メテ漢字ヲ兒童ニ教フル方法ヲ詳記セヨ

（二）鄉土地理鄉土歷史ヲ授クル趣旨ヲ解說シ又其教程ハ如何ナルベキカヲ問フ

（三）尋常小學第二學年生第三學年生第四學年生ヨリ成ル學級ニ於テ「祭禮ニ人ヲ招ク文」ヲ授クル方式ヲ表示セヨ

（四）生徒用机腰掛ニツキテ注意スベキ件々ヲ問フ

（五）近世ニ於テ教育ノ進歩改良ニ貢献シタル教育家二名ヲ擧ケテ其主義ヲ述ベヨ

（六）教育ノ繼續期ヲ區分シ各期ノ特徵ヲ概說セヨ

（七）直接ニ被教育者ノ品性ヲ陶冶スル方法ヲ解說セヨ

（八）小學校諸教科相互ノ關係ヲ概說セヨ

以上

一、補助的教育力ヲ說明シ且ツ眞個ノ教育家トノ關係ヲ問フ

二、單級編制ト多級編制トノ得失ヲ記スヘシ

三、高等小學校ノ兒童ニ自治ノ習慣ヲ得シムヘキ方法ヲ問フ

四、高等三學年ノ兒童ニ酸化作用テフ觀念ヲ附與スル教案ヲ作レ

五、十六世紀以後歐洲ニ於ケル教育思想ノ變遷ヲ問フ

國語科

一、文法

い　作用言の轉用に四段幷變格奈行良行の外直ちに下二段佐行良行に轉用する詞を擧げよ

ろ　助辞のしなそは續用言に關する助辞なるを其の例にあはさるものは何々なりや
は　動助辞と助辞との關係を記せ
　但し例を擧けて之を示せ
に　添詞中枕詞序詞發語助語の別を記せ　但し例を擧けよ
は　左の詞幷文字ノ假名ヲ記セ
　却、甲、孔、光、狹、喬、共、紫陽花、報、祝

二　讀方
い　左ノ文ヲ解セ
　とこしへにありゆく御代も小車のめくれるなうして物ことはうつろひゆけれ昔より馴れこしこともたよりよきかたるそなれる云々輿かきのよはろおくれて馬のひく車きしらひ人のひ〳〵車きそへり

三　文學史
い　奈良時代ヨリ和歌ニ及ボセル漢學佛學ノ影響ヲ陳ヘヨ
ろ　平假名制作ノ時代ヲ問フ
は　江戸時代ノ文學三時期ニ付キテ知ル所ヲ記セ

四　作文
　敬神ノ感化ヲ

一　此に左の二語は同活語なるか否かを辨明せよ
　押せり　載せり
二　正格動詞及變格詞動の未然段に結付くべきあらゆる助辞を列擧せよ
三　左の二語の別を問ふ
　黒かりけん　黒けん
四　なりとそ動助辞につき詳に說明せよ
五　左の歌を解剖せよ
　ともしして今宵もあけぬ玉くしけ二村山の峰の横雲
　山はさけ海はあせなん世なりとも君に二心われあらめやも
六　左の文章幷に歌を講義せよ
　女兒のためには親をさなくなりぬべし玉ならずもありけんをと人いはやされぞも死にし子顔よかりきといふやうもあり(中略)五日けふからくして和泉灘より小津の泊をふ松原めもはる〳〵かれこれ若けれは詠める歌
　ゆけとなは行やられぬはいもかうむをつの浦なる岸の松原
七　上古より奈良朝に至るまての文學の大略を述べよ

八　平安時代の文章と鎌倉時代の文章と異れる諸点を問ふ

九　左の書籍の著作者を問ふ

とはずがたり、扶桑拾葉集、常陸帯、大道訓、塵事根源、元々集、

十　左の語に讀方の假字を附せよ

上達部、有職、荷前、遠侍、直衣、

十一　作文　志士は天下の憂に先ちて憂ふ　（普通文）

一　文法

い　体言用言に助辞連續の特例を擧けよ

ろ　結のみありて係辞をふくめたる歌二首を擧けよ

は　枕詞序詞發語助語の區別各例ヲ擧ケテ示セ

に　左の語に假名を記せ

祝部　圓居　兵者　以上訓

久入　忠入　以上音

二　講讀

左の文を解せ

もし跡の白波に身をよする朝には岡の屋に行かふ船をみとがめて滿沙彌が風情を爲にみもし桂の風葉をならす夕には潯陽の江をおもひやりて源都督のなかれをならふ

三　文學史

い　祝詞宣命の事に付き其の知る所を記せ

ろ　萬葉集の事同上

は　鎌倉より室町に至りて公家武家にて各文學者二人を擧けよ

四　作文

德育教授の完全ならざる所以を論せよ

一　文法

い　約音と略音との別を問ふ例を擧けて之を示せ

ろ　對語と疊語との別を問ふ例を擧けて之を示せ

は　發語と助語との別を問ふ例を擧けて之を示せ

に　左の文に付き文法上の解剖をなせ

昔式部大輔左大辨かけし清涼の大納言ありけり皇子ばらに男子一人もたり其の子心の敏き事限りなし

二　講讀

左の文を解せよ

帥殿の御一ッ腹の十七にて中納言になりなどして世の中のさがれものといはれたまひし殿の御童名は阿古君ぞかし云々三條院の大嘗會の御禊にきらめかせ給へりし御まれどこそつねよりことなりしか云々御目のそこれはれたまひしこそいといとあたらしかりしか云々

三　文學史

い　漢籍佛教の傳來に付き日本文學の上に及ほしたる景況

ろ　左の人名の假字を記せ

大伴家持、山上憶良、大伴旅人、額田女王、大伴阪上部女、

は　平安時代　鎌倉時代　室町時代に付各時代文學の特色なる者を擧けよ

に　徳川時代　和學者　漢學者各五名を擧けよ

四　作文

國民の氣象は一國の獨立に關する事を論ず

但し普通文二百字以内ヲ限ル

一　文法

い　動詞と助辭との關係に付き其の特別なる者を擧け例を以て之を示せ

ろ　係結の特例を擧け之にも例を示せ

は　對語と疊語との別を擧け之にも例を示せ

に　左の文中其の誤まる所を訂せ若らさる所を補へ

誠や烏の群ゐて池の蛙を取りければ御寛しかなしませ給ひてなんと人の語りしこそさてはいみしくこそと覺へしが

は　左の語の假名を記せ

近江　周防　以上訓

周勇會　以上音

二　講讀

左の文を解け

みをの一すぢはさしひく汝にもまじらでそはに花田の色に流れしにて沖に出づめりこれや水上のちゝぶの山のましみこき水の落來るならむうちむかふ嶺のはり原のて云々

三　文學史

い　漢學佛學傳來の事に付き其の知る所を記せ
ろ　大學國學の事に付き知る所を記せ
は　平安時代散文の種類を擧げ併て其の知る所の名を記せ
に　和歌八代集は何々なりや
ほ　謠曲及連歌の流行は何時代なりや
へ　普通文の初は何時代なりや

三　作文
完全なる敎師の資格

漢文科

太史公曰老子所貴道虛無因應化於無爲故著書辭稱微妙難識莊子散道德放論要亦歸之自然申子卑々施之於名實韓子引繩墨切事情明是非其極慘礉少恩皆於道德之意而老子深遠矣

(一)　冀北馬多於天下伯樂難善知馬安能空其群耶
(二)　右之爲市者以其所有易其所無者有司者治之耳有賤丈夫焉必求龍斷而登之以左右望而罔市利人皆以爲賤故從而征之征商自此賤丈夫始矣
(三)　今兩虎共鬪其勢不俱生吾所以爲此者以先國家之急而後私讐也廉頗聞之肉袒負荊因賓客至藺相如之門謝罪曰鄙賤之人不知將軍寬之至此也卒相與驩爲刎頸之交
右求訓點解釋

太史公曰余讀司馬兵法閎廓深遠雖三代征伐未能竟其義如其文也亦少褒矣若夫穰苴區區小國行師何暇及司馬兵法之揖讓乎世既多司馬兵法以故不論著穰苴之列傳焉
右句讀及返點ヲ附ケテ平易ニ解釋スヘシ

(一)　苟可以寫其巧智使機應於心不挫於氣則神完而守固雖外物至不膠於心
(二)　其爲政也善因禍而爲福轉敗而爲功貴輕重愼權衡
(三)　人有鷄犬放則知求之有放心而不知求學問之道無他求其放心而已矣
(四)　孟子曰仁言不如仁聲之入人深也善政不如善敎之得民也善政民畏之善敎民愛之善政得民財善敎得民心
古訓點解釋ヲ求ム

地理科

(一) 置縣前本縣内ニ在リタル諸藩ノ名及其治所ヲ問フ
(二) 我商品ノ主要ナル得意先ハ何レノ國々ニシテ且ツ其輸入品ハ何々ナルカ
(三) 臺灣ニ就キ知ル所ヲ記セ
(四) 支那本部ニ於ケル交通ノ便否ヲ詳記セヨ
(五) 西比利亞ノ主モナル産業ハ何ナルカ
(六) 日耳曼帝國ノ政体ヲ問フ
(七) 左ノ地名ニ就キ知ル所ヲ記セ
タウンスビル、オツタワ、ブライマウス、八王子、ハノイ
(八) 貿易風ノ源因及季節ニヨリテ變位スル景況ヲ問フ
(九) 地層中ニアル石灰岩ノ組成ヲ詳述セヨ
(十) 海水ニ鹽分ヲ含有スル由來ヲ問フ

一 北日本と南日本とを比較せよ
二 本邦中砲臺の所有地を問ふ
三 左の地名に付き其所在の國名と其訓とを記すべし
(イ) 船上山 (ロ) 弘前 (ハ) 愛鷹山 (ニ) 新發田

四 歐羅巴各國の首都を擧げよ
五 星雲假說とは何をや
六 本縣の地勢を記せ

一 瀬戸内海ノ重ナル航路ヲ擧ゲヨ
二 世界ニ於テ綿茶砂糖ノ各重ナル産國ヲ擧ケヨ
三 歐羅巴ト亞細亞ノ地勢トヲ比較對論セヨ
四 左ノ地名ニ付テ著シキ點ヲ擧ゲヨ
(1) 伏見 (2) 若松 (3) 網走 (4) 基隆
(5) 仁川 (6) 孟買 (7) ホノルヽ (8) サンフランシスコ
五 雨天ハ晴天ヨリ蒸シ暑キ理由、岡山地方夕ナギノ理由ヲ説明セヨ
六 地震ノ源因ヲ詳説セヨ

(一) 我邦ノ工業並ニ其原料産品ノ輸出入ノ有様ヲ記セ
(二) 英國ノ海外領土ノ主ナルモノ三ヲ擧ゲ其地勢氣候産物及都會ヲ記セ
(三) 左ニ掲クル名稱ニツキ知レル所ヲ記セ
(1) 北海道炭礦鐵道 (2) 漢口 (3) 渭水 (4) 西印度諸島

(5) ちちかか湖

(四) 四季ノ變化アル理由ヲ詳說セヨ

(五) 北半球ニ於ケル風ノ環動幷ニ反對環動ヲ詳說セヨ

(六) 岡山近傍地質ニ就テ記セ

(6) はたびわ (6) さしる運河

一 本縣に於て町制を布かれたる地名を記せ

二 北海道と沖繩縣とに於ける重なる物産を擧けよ

三 露西亞の軍備を略記せよ

四 長崎より佛國に至るまでの航路を記し幷せて其の寄泊すへき港名を擧けよ

五 左の地名につき知るところを記せ

(イ) 巨文島 (ロ) 三池 (ハ) 鷹島 (ニ) 天津

(ホ) カンジア島

六 暗射圖を掲けて左の地名を記さしむ

(イ) シガコ (ロ) リオデシヤヂーロ (ハ) 漢口 (ニ) アセンス

(ホ) ポートセード

七 星雲假說を略記せよ

八 噴水井を生ずへき岩層排列の狀態如何

九 如何なる岩層排列の狀態によりて石炭が大古の植物の化成なることを證明するや

一〇 示したる岩石の名稱を記し併せて其成因を記すべし

(イ) 砂岩 (ロ) 蠻石 (ハ) 安山石 (ニ) 玄武岩

一 戰國時代に於ける皇室の狀態を略記せよ

二 律令格式とは何ぞや

三 五條の御誓文を問ふ

四 姓氏の區別を記せ

五 左の事項を解說すべし

(イ) 蔭位 (ロ) 封戶

(ホ) 四ツ物成

六 左の人々の重なる事跡を略記すべし

(イ) 關孝和 (ロ) 吉田矩方(松陰)

(ニ) 本居宣長 (ホ) 大國主命

七 三十年戰爭の顚末を問ふ

八 ピータル大帝の事跡を記せよ

(ハ) 公廨 (ニ) 倉役

(ハ) 北條實時

九　五覇の事跡を問ふ

一〇　土木の樞とは何ろや

一　兵權ノ鎌倉幕府ニ歸セシ來歴ヲ述ヘヨ

二　徳川家康ノ内治外交ニ關スル事項ヲ列擧セヨ

三　左ノ人々ノ顯著ナル事蹟ヲ記セ

(1)　可美眞手命　(2)　竹内式部

四　支那國ニ於テ文明富强ノ極盛ニ達セシハ何ノ時代ナルカ且其時代ト日本ノ奈良平安時代ノ文明トハ如何關係アリシヤ

五　那蘇敎ノ起因ト傳播ノ有樣ヲ簡單ニ記セヨ

六　左ノ人々ノ顯著ナル事蹟ヲ記セ

(1)　王安石　(2)　ルイ十四世

(一)　ひーとる大帝及かさりん二世ノ雄圖ヲ記セ

(二)　清朝ニ於ケル外患ノ重ナルモノ三ツヲ記セ

(三)　我邦政治變遷ノ大要ヲ記セ

(四)　左ノ諸項ヲ解說セヨ

(1)　石器時代　(2)　令外ノ官

(3)　狹書ノ禁　(4)　李牛ノ年

(5)　使徒　(6)　神聖同盟

(五)　左ノ人々ニツキ知レル所ヲ記セ

(1)　舍人親王　(2)　水野忠邦

(3)　顔眞卿　(4)　拔都

(5)　ふるたるく　(6)　ぐらんど

一　八等の姓を擧げ併せてこれを設けし理由を陳へよ

二　上代に於ける姓と氏との別を記せ

三　略譜を掲けて兩統互立の次第を記せ

四　秦漢南朝の政體を對比せよ

五　五覇の事蹟を略記せよ

六　玉安石の新法を略記せよ

七　北米合衆國與北戰爭の顚末を記せ

八　以太利國一統の顚末を記せ

九　左の事項を解釋せよ

(イ)　合縱連衡　(ロ)　井田の法

(ハ)　賑給及蠲免　(ニ)　押領使　(ホ)　浮役

一〇　左の人々の事蹟を略記せよ

（イ）關孝和　（ロ）李聃　（ハ）コルテズ　（ニ）ピザロ

（ホ）ガブール

物理科

(1) 遠心力ノ强度ヲ示ス公式ヲ算出セヨ但シ其運算式ヲモ示セ

(2) 鑛性驗壓器ノ搆造ヲ圖解シ其氣壓ヲ示ス作用ヲ說ケ

(3) 音色トハ何ヲ云フカ又音色ノ差異ハ何ニ因テ生スルカ

(4) 氷塊ハ透明ナレトモ之ヲ碎粉スレバ不透明トナルハ何故ゾ

(5) 暗箱ノ玻璃板上ニ景色ノ映出スル理ヲ圖解セヨ

(6) 重量百匁ノ水ガ攝氏氷點下十度ニ冷却シテ然カモ氷結セサルモノアリ今此水ニ振動ヲ與ヘテ其一分部ヲ氷結セシムルトスレバ全体ノ温度氷點ニ達スルヤ氷結スヘキ水ノ重量如何

(7) 蓄電池内ニ電氣ヲ蓄ヘ得ルハ如何ナル理由ナルカヲ解說セヨ

(8) 磁石針ハ正シク南北ノ方位ヲ示スヤ否ヤニ就テ記憶スル所ヲ述ヘヨ

（一）精良ナル天秤ガ具備スヘキ條件ヲ述ヘヨ

（二）重量廿六匁六分六厘アル金塊ハ其容積幾立方「センチ」アルカ

（三）音波ノ交互トハ如何ナル現象ナルカ其理由ヲモ說明スヘシ

（四）沒色「レンス」ハ如何ナル理ニ因リテ作リ得ヘキカ

（五）「アイスランドスパー」ヲ隔テヽ物体ヲ視レバ其二重ニ見ユル理ハ如何

（六）「ヂユーロン」及「ブチー」氏ノ定律ヲ問フ

（七）電流ニ關スル「オーム」氏ノ定律ヲ細說セヨ

右

一　彈力球ヲ固壁ニ向ッテ斜擊スルトキノ反射ノ有樣ヲ力ノ平行方形ニヨリテ說明セヨ

二　同シ振動數ヲ有スル二ツノ調音又ハ並ベ置キテ其一ヲ鳴セバ他ノモノモ亦鳴出スト云フ其理如何

三　蟲目鏡（凸レンズ）ニテ物ノ大キヽ見ユルハ何故ナルカ

四　フーコー氏ノ振子實驗ニヨリテ地球ノ自轉ヲ證明セヨ

五　南北ニ通ル電流アリ其上方ニ磁石針ヲ置ケバ其南極東ニ偏スト云フアムペールノ法則ニヨリテ電流ノ方向ヲ論定セヨ

六　長五尺ノ天秤棒ノ南端ニ夫々八貫ノ重リト四十五匁ノ重リトヲ釣ルセリ之ヲ擔グニハ棒ノ如何ナル点ヲ肩ニスヘキカ

(一) 物体ノ運動及ヒ靜止ト云フコトヲ解釋セヨ

(二) 落体ノ毎秒時間中ニ落下スル距離ハ一、三、五、七等奇數ノ割合ヲ以テ增加スルコトヲ解說セヨ

(三) 木片等ノ水ヨリ輕キ物体ノ水ニ對スル比重ヲ求ムル方法ヲ記セ

(四) 酒撤(サイフオン管)ヲ用ヒテ高所ノ液体ヲ低所ニ流移セシメ得ル理ハ如何

(五) 熱ノ傳導、輸送(對流)輻射ト云ヘル三件ヲ解セヨ

(六) 凹面反射鏡ノ公式 $\frac{1}{a}+\frac{1}{b}=\frac{1}{f}$ ニ於テ a

化學科

(1) 燃燒トハ如何ナル化學的現象ヲ總稱スルカ又其現象ノ緩急ニ因リテ如何ナル區別ヲ生スルカ

(2) 硫酸ノ製造法(其變化式ヲモ)及ヒ硫酸ノ性狀ヲ述ベヨ

(3) クロル、ブロム、ヨードノ三元素ハ共ニ類似シテ一屬ヲ爲スト云フ如何ナル所ガ互ニ類似ナルカ

(4) 普通火藥ノ成分及ヒ其燃燒スル片生スル物質ヲ記シ且ツ彈丸ヲ飛行セシムル等ノ如キ勢ヲ發スル理由ヲ述ベヨ

(5) 重金屬(比重五以上ノモノ)鹽類ノ水溶液中ニ水酸化「アルカリ」ノ水溶液ヲ加フレバ如何ナル變化ヲ生ルカ

(6) 銅ノ冶金法ニ就テ其大略ヲ述ベヨ

(7) 「クロタホルム」ト「ヨードホルム」トノ成分、性狀、効用ヲ記セ

(8) 「アルコホル」トハ如何ナル化合物ヲ通稱スルヤ又其一般ノ分子記號ハ如何

(9) 「アルカロイド」トハ如何ナルモノヲ云フヤ又其普通ナルモノ、名稱ヲ記セ

一 蠟ハ炭、水、二元素ヨリ成レルコトヲ證明スヘキ實驗法ヲ記セ

二 水ハ酸素一容積ト水素二容積ヨリ成レルコトヲ證明セ

三 左ノ性質ヲ有スル瓦斯ノ各一例ヲ擧ケ其製法ト捕集法ヲ記セ

イ 空氣ヨリ輕クシテ水ニ溶解スルモノ

ロ 空氣ヨリ輕クシテ水ニ溶解セサルモノ

ハ 空氣ヨリ重クシテ水ニ溶解スルモノ

ニ 空氣ヨリ重クシテ水ニ溶解セサルモノ

四 パラフキン系ノ炭化水素、アルコホル、エーテル、エステル脂肪酸ノ分子組織ヲ比較シテ相互ノ關係ヲ說ケ

五 澱粉ヲ原料トシテ製シ得ヘキ諸化合物ノ名稱ヲ擧ケ各其製法ノ概要ヲ記セ

(一) 各氣体(元素化合物ノ區別ナク)ノ分子重ハ其水素ニ對スル氣体比重ノ二倍ニ等シト是レハ如何ナル事實ニ依リテ斷定セシヤ 熱、電氣、壓縮性、酸性、明度、比重、光澤等

(二) 純潔ナル大理石百瓦ヲ鹽酸中ニ溶解シテ生シタル炭酸瓦斯ヲ壓力二氣壓及攝氏二十度ノ温ニテ計レバ幾何(グートル)ノ容積ヲ有スルカ

(三) 金屬元素ト非金屬元素トノ區別

(四) 酸ヲ含有スル水溶液アリ其酸ハ硫酸又ハ硝酸又ハ鹽酸ノ内一種ヲ限リテ含ムトセバ其何レヲ含ムカヲ決定スルニハ如何ニシテ可ナリヤ

(五) 週期律トハ如何

(六) 「パラッフヰン」系ニ屬スル「アルコホル」「エステル」「エーテル」ノ各々ノ分子ヲ一般ニ示スヘキ分子式ヲ示セ

(七) 澱粉ト「セルロース」(植物細胞素)トノ性質ヲ記シ且ツ其分子ノ實檢式ヲ書セ

(八) 石炭酸ノ分子式ヲ記シ且ツ其性質ヲ述ベヨ

(一) 攝氏零度及一氣壓ニ於ケル瓦斯体ノ容積Voヲ知リテ其某温度某氣壓ニ於ケル容積Vtヲ求ムル公式ヲ示セ

(二) 五十瓦ノ「クロル」酸加里ヲ熱シ全ク分解セシメテ得タル酸素ハ攝氏廿度七百五十mmノ壓ニ於テ幾「リットル」ノ容積ヲ有ツカ

(三) 發生機ニ於ケル元素ハ其他物ト化合スルノ力特ニ強キ理ハ如何

(四) 金屬鹽類ノ水溶液中ヨリ其水酸化物ヲ沈澱セシムルニハ如何ニスベキヤ且ツ其例五種ヲ示セ

(五) 元素ト單体トノ區別

(六) 澱粉ガ醗酵シテ「アルコホル」ニ變化スル順序ヲ述ベヨ

(七) 「アニリン」ノ性質効用ヲ述ベヨ

右

博物科

(1) 僞形トハ何ヲ云フカ又僞形ヲ生スル三原因ハ如何

(2) クローム、コバルト、銅、マンガン、ノ化合物ガ硼砂球ニ附スル色及ヒカルシウム、ストロンヂウム、バリウム、ソヂウム、リシウムノ化合物ガ火焰ニ着色スル色ヲ記セ

(3) 孔雀石、方鉛鑛、石膏ニ就テ記憶スル所ヲ記セ

(一) 雙子葉莖ノ維管束系ニ就テ知ル所ヲ記セ

(二) 花蓋トハ如何ナルモノナリヤ
(三) 葉綠質トハ何ヲ云フヤ
(四) 昆蟲ノ變態ヲ記載セヨ
(五) 靴毛類ノ形質ヲ問フ
(六) 鳥類ノ骨骼ニ就テ知ル所ヲ記セ
(七) 皮膚ノ造構ヲ問フ
(八) 血漿中ノ纖維素ハ如何ナル用アリヤ
(九) 神經系衛生ノ要件ニ就テ知ル所ヲ記セ

(一) 硬度ヲ詳說セヨ
(二) 金剛石、方鉛鑛、閃亞鉛鑛、鷄冠石、辰砂、輝銀鑛、螢石、方解石、石膏、孔雀石ノ成分ヲ記セ
(三) 晶軸摸形一個ノ說明 結晶摸形三個鑛物標本七個ノ名稱
(四) 葉ノ生理作用ヲ詳說セヨ
(五) 細胞ニ就テ詳說セヨ
(六) 花ノ解剖并ニ植物七種ノ名稱
(七) 唾液、胃液、膵液及膵液ノ各作用ヲ記セ

(八) 人骨ニ就テ四肢ノ各骨ノ名稱
(九) 人體解剖摸形ニ就テ臟腑ノ說明
(一〇) 動物界ノ八門ニ就キテ各門三個ツヽ、動物ノ名稱ヲ記セ
(一一) 魚肉ヲ日ニ晒セバ數時ニシテ蛆ヲ生ス所以并ニ之ヲ豫防スル方法ヲ記セ
(一二) 蛙ノ內臟ヲ生徒ニ示ス迄ノ手續ヲ詳記セヨ

(1) 鷄卵ノ構造ヲ詳說セヨ
(2) 肝臟ヂストマニ就テ知ル所ヲ記セ
(3) 筋肉組織並ニ作用ヲ記セ
(4) 垢ハ如何ナルモノナルカ
(5) 雄蘆雌蘆ハ葉ノ變形シタルモノナリトヲ云フヲ說明セヨ
(6) 荳科唇形科十字科及殼斗科ノ最モ主トスル特徵ヲ記セ
(7) 岩石ヲ崩壞スル主ナル勞力ヲ記セ
(8) 鐵、銅、銀、鉛、錫、亞鉛及水銀ヲ取出ス鑛物ヲ記セ
(9) 顯微鏡實驗
(10) 植物實驗
(11) 鑛物實驗

(一) ヘツケル氏ノがすとりお論ヲ説明セヨ
(二) ぢすとまニ就テ知ル所ヲ記セ
(三) 齧歯類ノ形質ヲ問フ
(四) 滋養質ノ植物体ニ入ル方法及液質ノ上昇スル方法ヲ問フ
(五) 苞ニ就テ知ル所ロヲ記セ
(六) 地衣類ヲ記載セヨ
(七) 會厭軟骨ノ作用ハ加何
(八) 食物ノ消化ニ就テ知ル所ロヲ記セ
(九) 眼球ノ造構ヲ問フ

習字科

律己貴廉勤御事要明斷

右三躰

弓矢トル業ニカヘツヽヨム書ニ心ノ的ヲトホシテシカナ

右假名

遺失者常得懷安者必危

右楷行草三体

敎ヘオク事タカハスハ行末ノ道遠クトモ跡ハマトハシ

右通常ノ歌文体

永字ハ法ノ名稱ヲ問フ

官直

右ノ如キ字ヲ敎授スルニ就テ示ス可キ要点ハ加何

(一) 鳥啼青嶂外糜臥綠陰中

右楷行草三躰

(二) 左ノ歌ヲ普通ノ体ニ書クヘシ

サツキマツ花立バナノ香ヲカゲハムカシノ人ノ袖ノ香ソスル

(一) 左ノ假名ハ如何ナル文字ヨリ變化セシカ

いろしみつとむ

(二) 仰筆覆筆ノ區別ヲ説明セヨ

(三) 病筆ト云フ事ニ付テ知ル處ヲ問フ

圖畫科

自在畫　(1) 工夫畫題　水玉ニ渦線

(2) 臨畫題　人物

用器畫　(1) 正方形内ニ四箇ノ同圓ヲ容ル法但其各圓ハ他ノ二圓ト正方形ノ一邊トニ觸ルヽモノトス

(2) 長方形アリ其短カキ一邊ニ於テ地平面上ニ立其面縱面平面ノ兩面ト直角ナル片ノ平面及正面圖ヲ需ム

筆答　(1) 此畫ニ就テ其見ル所ヲ記セヨ

自在畫

(一) 新案題　遠見ノ松但し散らし摸様を以て表す事

(二) 臨畫題　梅但し濃淡を施す事

用器畫

(一) 渦線を畫く法

(二) 長さ三寸幅二寸の平面形あり其短かき邊縱面正面及び平面圖を需む

脉操科

兵式体操　体操教範第一部第一章教授法

普通体操　體鈴体操第一演習　球竿体操

兵式体操　体操教範第一部第一章

普通体操　徒手体操第一演習　體鈴体操第二演習　球竿体操

右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章教授法

普通体操　徒手体操第二演習　球竿体操　啞鈴体操第二演習

右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章

普通体操　徒手体操第二演習　啞鈴体操第一演習　球竿体操

右實地

兵式体操　体操教範第一部第一章

普通体操　徒手体操第二演習　啞鈴体操第一演習　球竿体操

右實地

高等專科正教員

高等專科正教員

圖畫科

自在畫　(一)工夫畫題　雲鳥
　　(二)臨畫題　人物

用器畫　(一)渦線ヲ畫ク法
　　(二)正方形アリ其一對角線ハ縱面ト直角ニシテ一ハ並行シ其面平面ニ六十度ニ傾ムケル片ノ投影圖ヲ需ム

筆答　(一)甲乙ノ畫ニ就テ其見ル所ヲ記シ各ノ互ニ異ナル所ヲ擧ケヨ

自在畫
(一)新案題　鷲　但散らし模樣を以て表す事
(二)臨畫題　馬　但淡墨にて濕暈を施す事

用器畫
(一)畫者の高五尺畫面と畫者との距離二十尺、二立面の畫面に並行せる高三尺の正方体上に其上面を底せる高四尺の方錐体あり畫者の右方五尺の處に於て畫面内六尺の後に退ける時の透視圖を需む

体操科

兵式体操　歩兵操典第一部第一章執銃教練
　　体操教範第一部第一章
　　右教授法實地
普通体操　徒手体操第一演習　啞鈴第二演習　球竿体操　棍棒体操第一演習
　　右實地
（一）整頓ノ𠮟各生徒ヲシテ注意セシムヘキ要件ヲ問フ
（二）射撃ノ種類ト方法ヲ問フ
（三）小隊教練中小角度ノ方向變換ノ號令ト方法ヲ問フ
（四）中隊縱隊ノ隊形ト幹部ノ位置中隊縱隊ヨリ横隊ニ移ル號令ト方法及其隊形幷ニ幹部ノ位置ヲ問フ
（五）前哨ノ任務ヲ問フ
　　右筆答　二時間

音楽科

唱歌

一　調長音階幷ニ關係短音階但シ旋律的上行及下行
二　紅葉　小學唱歌集初編　階名歌詞　二篇
三　燕　〃　〃
四　岩もる水　〃　〃
五　園生の梅　〃　三篇

風琴

一　見渡せば　小學唱歌集初篇　双手彈法
二　君か代　〃　〃
三　奈良の都　〃　三篇
四　忠臣　〃　〃
五　進行曲　〃　〃

一　四種ノ聲音ヲ問フ

二　(ど)(に)(は)(へ)變(い)等ノ長調及其關係短調ヲ高音部譜表ニ記載スベシ

三　二種ノ半音ヲ問フ

四　不同ノ音符及休止符ヲ用ヒ四分四柏子四小小節八分六拍子六小節四分三拍子八小節ヲ記載シ且ツ各小節ノ强聲部ヲ示スベシ

五　別紙ノ樂譜ヲ短第二度上ニ移調スベシ三篇唱歌集なみ風

六　强暴ナル音聲ノ矯正法ヲ問フ

七　男女合併敎授ノ利害ヲ問フ

八　唱歌敎授上樂器伴奏ノ利害ヲ問フ

唱歌

一	春風	小學唱歌集初編	全	二篇
二	岩もる水	全	全	二篇
三	身はたをやめ	小學唱歌第四卷		
四	岩清水	全	第六卷	
五	(二)調長音階			

風琴

一	花咲く春	小學唱歌集初篇	全	二編
二	燕			
三	水鳥	小學唱歌第二卷		
四	天長節の歌	全	第三卷	
五	進行曲			

樂典及敎授法

一　大譜表ノ全區域内ニ屬スル(ト)(ロ)(ニ)等ノ三音ヲ半音符ニテ下行ニ記載スベシ

二　嬰變ノ記號ヲ所屬ノ位置ニ記シ(ト)(イ)(ロ)(イロ)等ノ長調及其關係短調ヲ高音部譜表ヘ全音符ニテ記載スベシ

三　不同ノ音符及休止符ヲ用ヒ四分四拍子、八分六拍子、四分三拍子等各六小節ヲ記載シ而シテ各小節トモ其强聲部ヲ指示スベシ

四　二種ノ半音ヲ問フ

五　小學唱歌集初篇第十八曲宇つくしさの樂譜ヲ長第二度低ク移調スベシ

一　座唱ニ適當ナル姿勢ヲ問フ

二　高等小學校ニ於ケル男女合併敎授ノ利害如何

三　强暴ナル音聲ノ矯正法ヲ問フ

四　唱歌教授ニ最モ適當ナル樂器ヲ撰擇シ而シテ其理由ヲ說明セヨ

五　實地教授（一）　三十分時

高等科教授要目

四　唱歌教授ニ最モ適當ナル樂器ヲ撰擇シ而シテ其理由ヲ說明セヨ

五　實地教授　三十分時

高等裁縫專科正教員

子を育つる事は父母の教にありそが中に母は取わき心せざれは成長して正しき人にはなりがたし然るを世には父は教ふるもの母は養ふものとのみ思ふは甚しき過なりそは子生れて四歳五歳になるまでは母の懐を離れされば父よりも母の教ゆるが近きなり父の教ふるは七歳八歳より後の事なりまづそれまでに母の能く教へされば七歳八歳になりても愚にして父の教も受けざるものなりそは俗言にも三つ児の魂百までといふこの言まことに然り

知れる短歌一首を書せしむ

一　或人金九圓を以て單衣地七反を買ひたるに九十五錢を余せりといふ一反の價何程なり

や

二　甲村は百人三十日間ノ糧ヲ貯ヘ乙村は五百人八日間の糧を貯ふ今兵士七百人此兩村に

ト　滞在するときは何日間の糧なりや

三　左の諸式を運算して其答數を求めよ

7 2 1 — 2 5 1　6 5 4.5 6 + 1 6

人の親の心は闇にわらねども子を思ふ道にまどひぬるかな

親は子ゆゑのやみに迷ふなるを子は其心も知らて獨りおとなしくなりたるやう思ひて仕事おろそかにする罪誰にか報いん總て其親に不孝なるべし

抑三とせ親の懐を離りてはへは立て立ては歩めよと引たつるやうに思ひやう〳〵おとなしくなるに從ひて身にあやまちはせずや心地わしくはおらずやと父母の心づかひはいかばかりぞや天の高きが如く極まりなき親の恵をちゝの一つもおもひはからず身をいたづらになすは悲しからずや

知れる短歌一首を書せしむ

一　或人金拾圓ヲ以テ單衣地九端ヲ買ヒタルニ壹圓貳拾五錢不足ストイフ一端ノ價平均幾何ナリヤ

二　人夫アリ一日金貳拾錢ヲ受取ル約束ニテ或家ニ雇ハレ九日働キテ賃金ノ代リニ米一斗八升ヲ受取リタリト云フ此米一升ノ價幾何

三　六人ノ職工共ニ働キテ一事ヲナセバ九日ニシテ成就スト云フ今若シ三人ニシテ此仕事ヲナサシムルトキハ前ヨリ幾日早ク成就スヘキカ

陰徳は富貴なる人のみ行ふべきにあらず貧賤の人と雖其の志あれば行はれずといふとなし金銀米錢を濫に人に與へ無益の事をなして財資多く費すを陰徳といふにあらず只我か分限に從ひ力の及ふ程施し惠むべし仁愛に心を用ふれば誰も爲し易し切めて我か身の驕りと欲とに財と心を用ふる十分の一の力を費さば其救ひ施すこと廣かるべし陰徳を行ひ久しきを積めば其報を求めずとも後日に必天道の恵ありて厄禍を遁れ福壽を増し其家ヲ盛にして子孫に幸あり

右の文中の漢字に讀假名を附し其全文を平易に解釋せよ

一　一端につき金七拾五錢六厘の木綿を一尺ニ付八厘の利得にて賣拂へり一尺の賣價及一端の利益幾何なるか

二　呉服商わけ金二百七十三圓にて布を買入れ其の手附金として其代金の十二分の一を拂へりといふ拂ひし金幾何なるか

三　金三百圓を貸し四年間に其利金として金二十四圓を得たりといふ其年利幾何なるか

德とは心立て善きをいふ心貞しく潔く和順なるを德とす

筆　答

（一）小學校ニ於テ女着本身ノ裁方ヲ授クルニハ如何ナル方法ニヨルベキカ敎授順序明記スベシ

（二）常巾長二丈の布ヲ以て紐下二尺二寸ノ出來上リノ襠高ヲ裁タントスルニハ如何ナル裁方ニナシテ可ナルカ圖解幷ニ寸法ヲ記入スベシ

（三）表地三丈五尺の布ヲ以テ春入夜着ヲ裁縫スルニ身丈五尺六寸袖丈一尺七寸ニセバ裏地ノ用布幾許ナルカ

（四）長サ六丈三尺ノ片面染崩紬ヲ以テ三枚重ネヲ裁タントスルニ袖丈一尺六寸身丈四尺一寸表裾ノ高サ一尺三寸五分ニ爲セバ如何ナル裁方ニシテヨキカ

部分縫　四時間

白絹五尺ヲ以テ比翼ノ右袖及ビ一寸三分絁ノ両褄ヲ作ルベシ

仕立上寸法

袖丈九寸五分

袖付五寸

全体縫　五時間

袖口四寸口線入

丸袴

男着絹袷羽織　但衿ハ縫返シニスルナリ

筆　答

（一）片面物一尺九寸巾丈二丈二尺八寸ヲ以テ紐下二尺二寸ノ袴一具ト丈二尺五寸袖丈一尺四寸ノ二ツ身一枚ト丈二尺ノ三ツ身裁シヤツ一ツヲ裁合せにする方法如何

（二）丈二尺六寸ノ前通ノ股引ヲ裁ツニ常巾何程ヲ要スルカ

部分縫

（一）正敎員ハ紋フクリンヲ以テ鯨尺五寸ヲ一尺トシテ紐下二尺三寸ノ雛形馬乘袴ヲ縫ヘ

（二）准敎員ハ緋モミヲ以テ鯨尺五寸ヲ一尺トシテ男羽織半身ノ雛形部分縫ヲ爲せ寸法袖丈一尺四寸丈出來次第

實地縫正准敎員共

（一）女長着裾綿を縫はしむ　フキ五分

品質凡て綿糸入ハ省く

筆答

(一) 裁縫ヲ教授スルニハ如何ナル点ニ注意スヘキカ

(二) 一尺二寸五分巾ノ友染縮緬片面物ニテ本身振袖比翼無垢ヲ裁ツニ袖丈二尺七寸身丈四尺一寸裄ノ裾廻一尺三寸ニナストキハ表裏ノ用布各幾尺ナルカ

但シ裏上ハ常巾ナリ

(三) 常巾三丈八尺ノ布ヲ以テ十人並江戸腹掛一ツ十人並前通股引二足トノ裁合ヲ圖解シ寸法ヲ記入スヘシ

部分縫　正教員ノ部

(一) 十人並ツボン下ノ雛形縫ヲナサシム

正准教員トモ

(二) もみ二尺五寸ノ布ヲ以テ直線三筋斜線二筋ヲ十分間ニ縫ハシム

(三) 甲斐絹ニテ五寸ヲ一尺トシテ袷羽織前身ノ部分縫ヲナサシム

實地縫　正准教員トモ

(一) 絹女着袷ヲ縫ハシム　袖八分以上隨意

品質は銘仙　いまおめしハ省ク

(二) 巾一尺八寸長一丈一尺四寸ノ片面物フランネルヲ以テ十人並男服本身ノ裁合セヲ圖

(三) 巾一尺八寸長一丈一尺四寸ノ片面物フランネルヲ以テ十人並男服本身ノ裁合セヲ圖解セヨ

(四) 常巾二丈八尺ヲ以テ女袷羽織ヲ裁ツニ身丈二尺五尺袖丈一尺六寸ノ仕立上ゲニ裁合スルハ袖裏肩抜地各幾何ニナルカ

但シ算式ヲ要ス

(一) 一尺二寸巾四丈ヲ以テ女比翼仕立ハ掛付裁方ヲ圖解セヨ

(二) 七分、一寸五分、ノ具裾形及一寸五分、六分九、ノ袖形ヲ與フル所ノ用紙ニテ裁テ

(三) 西陣子ルヲ以テ大人ノシヤツヲ裁タンニ丈二尺袖附六寸袖口四寸ニスルハ總尺何程ナルカ

(四) 與フル所ノ甲斐絹ヲ以テ他ノ破レタル切ヲ補綴セヨ

(五) 與フル所ノ切地ヲ以テ小兒袴袷下一尺六寸縫上リニ裁縫セヨ

(一) 常巾二丈六尺八寸ヲ以テ男羽織ヲ裁タンニ袖丈一尺四寸五分衿丈六尺二寸ニスレハ身丈何程ニシテ肩入袖裏併セテ何程ナルヤ

(二) 片面物二尺巾三丈七尺六寸ヲ以テ本身長褊衿四ツ身長者及女長着八ツ掛付ヲ他ノ寸法ニシテ裁ツ但シ圖解

四ツ身　袖丈六尺四寸　身丈　三尺四寸

長襦袢　袖丈六尺　身丈　三尺五寸

女長着　袖丈五尺六尺　身丈　四尺

（三）正教員

部分縫

白絹五尺ヲ以テ比翼ノ右袖及ヒ一寸三分袵ノ兩褄ヲ作ルベシ

仕立上寸法

袖丈九寸五分　袖口四寸

袖付五寸　九袂

全体縫

男着絹袷羽織　但シ衿ハ縫返シニスルナリ

復製不許

明治三十七年四月三日印刷
明治三十七年四月十日發行

定價金廿五錢

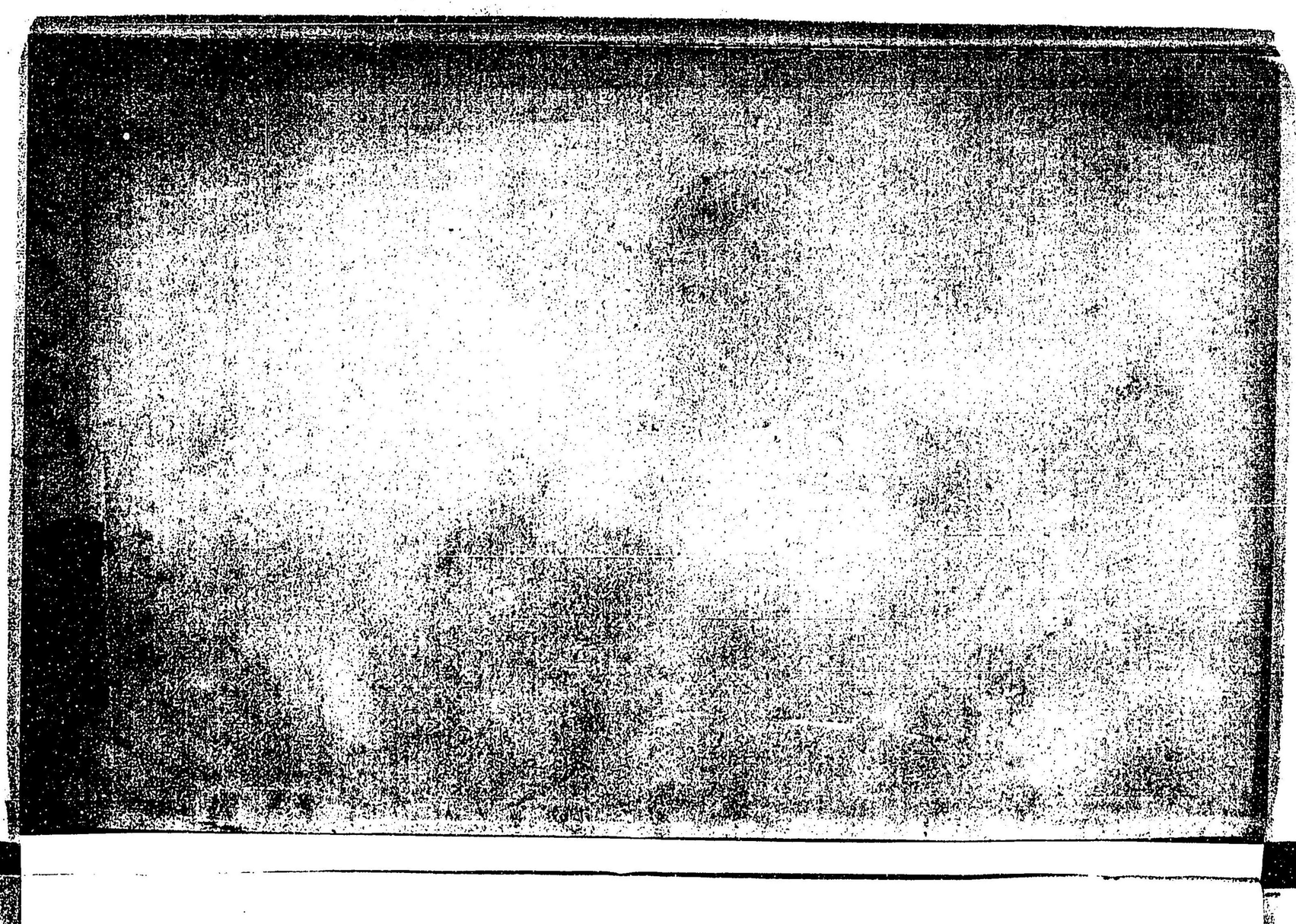
著者　小野隆治

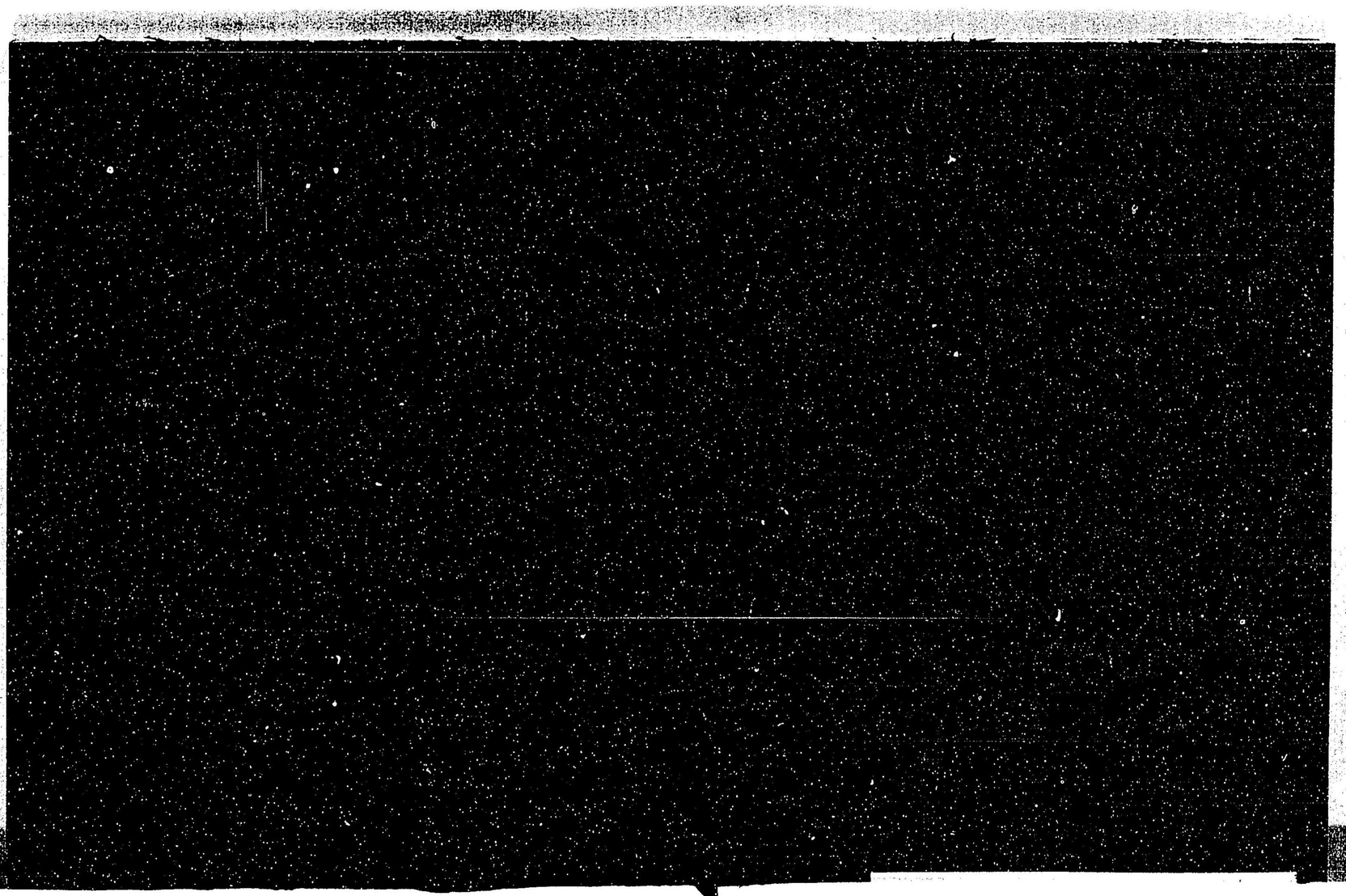
發行者　東京市神田區西松下町十四番地　吉田岩治郎

印刷者　東京市神田區西松下町十四番地　英文館

發行所　全國書店

賣捌所　全國書店





特45
176

小学校教員
検定試験問題集

国立国会図書館

049875-000-9

特45-176

小学校教員検定試験問題集

小野　隆治／著

M37

BEM-0611